

Ⅲ 参 考 資 料

平成22年度の取組の内容と

成果と課題

成22年度の取組の内容と成果と課題

I	大和地域小・中連携教育の取組	37
1	実践研究課題	
2	地域の特色や課題	
3	実践研究のねらいと重点	
4	研究組織	
5	今年度の取組と平成23年度に向けて 《参考資料》…小・中連携だより	
II	学習習慣研究部の取組	40
1	本年度の取組	
2	取組の成果と課題	
3	今後の課題 《参考資料》1…小・中連携だより 2…家庭学習の手引き	
III	生活習慣研究部の取組	44
1	本年度の取組	
2	取組の成果と課題 《参考資料》1…小・中連携だより 2…家庭の日キャンペーン 3…すこやかチェックカード	
IV	交流活動研究部の取組	48
1	本年度の取組	
2	取組の成果と課題 《参考資料》1…小・中交流活動の内容 2…小・中連携だより（表・裏）	
V	授業改善研究部の取組	52
1	本年度の取組	
2	取組の成果と課題 《参考資料》1…求める児童生徒像 2…小・中連携だより 《別冊資料》公開授業指導案・考察集	

1 実践研究課題

共に学び合い自己実現を図ろうとする大和っ子の育成
～豊かな人間関係と学習習慣の確立を目指した小・中連携のあり方～

2 地域の特色や課題

光市大和地区は、山口県の東部、光市の北部に位置し、周囲を低い山々に囲まれた丘陵地帯で、美しい緑に囲まれた自然みあふれる静かな地域である。初代内閣総理大臣伊藤博文の生誕の地でもある。

地域内には、小・中合わせて5校の学校があり（小学校4校、中学校1校）、小学校は3校の小規模校、1校の中規模校からなる。各学校内には、美しい花木が広がり、その環境の中で、子どもたちは健やかかつ伸びやかに成長している。中学校は、部活動が盛んであり、なかでも陸上競技においては、平成20年度の駅伝大会で全国優勝を果たすなど高い成果を収めている。

一方、課題としては言葉によるコミュニケーションの不十分さから（児童生徒アンケートで「友達作り」が苦手と回答した者が29.5%）、相手の意見や行動を理解し尊重する意識が希薄なた、児童生徒間のトラブルがあり、授業にも集中できないことや、問題行動に発展する事案が増加傾向にあることが挙げられる。近年は、関係機関との連携を緊密に図らざるを得ない問題も起こっており、それぞれの小学校で固定化された人間関係や学習規律・生活習慣が、中学校への進学によって変化することにより、集団としてまとまるのが困難な傾向が見られる。

また、一部には中一ギャップという言葉に代表されるように、中学校での生活や新たな人間関係づくり、教科担任制などの学習環境の変化に必要な以上に緊張感を抱き、中学校生活にスムーズに適応できない生徒もいる。

こうしたことから、小・中学校が連携して、自他を尊重し、望ましい人間関係を築くことのできる大和っ子、学習習慣を身に付けて主体的に学習に取り組む大和っ子を育成するための協働実践を行っていく必要がある。

3 実践研究のねらいと重点

(1) 人間関係づくりに焦点を当てて

生徒指導的な視点からのアプローチで、かかわり合い、集団づくり、コミュニケーション能力の育成を図る。

① 交流活動研究部

- ・小・中児童生徒間交流を実施し、人間関係づくりの場と機会の工夫をすることで、コミュニケーション能力の育成を図る。

② 授業改善研究部

- ・授業における学び合いの場の工夫をすることで、コミュニケーション能力の育成を図る。
- ・外国語活動と英語科との連携により、他者理解の推進、自己表現の場の設定、コミュニケーション方法の工夫等を行う。

(2) 学力向上を支える学習習慣に焦点を当てて

学力向上の視点からのアプローチで、学習規律の向上や家庭学習習慣の定着を図る。

① 学習習慣研究部

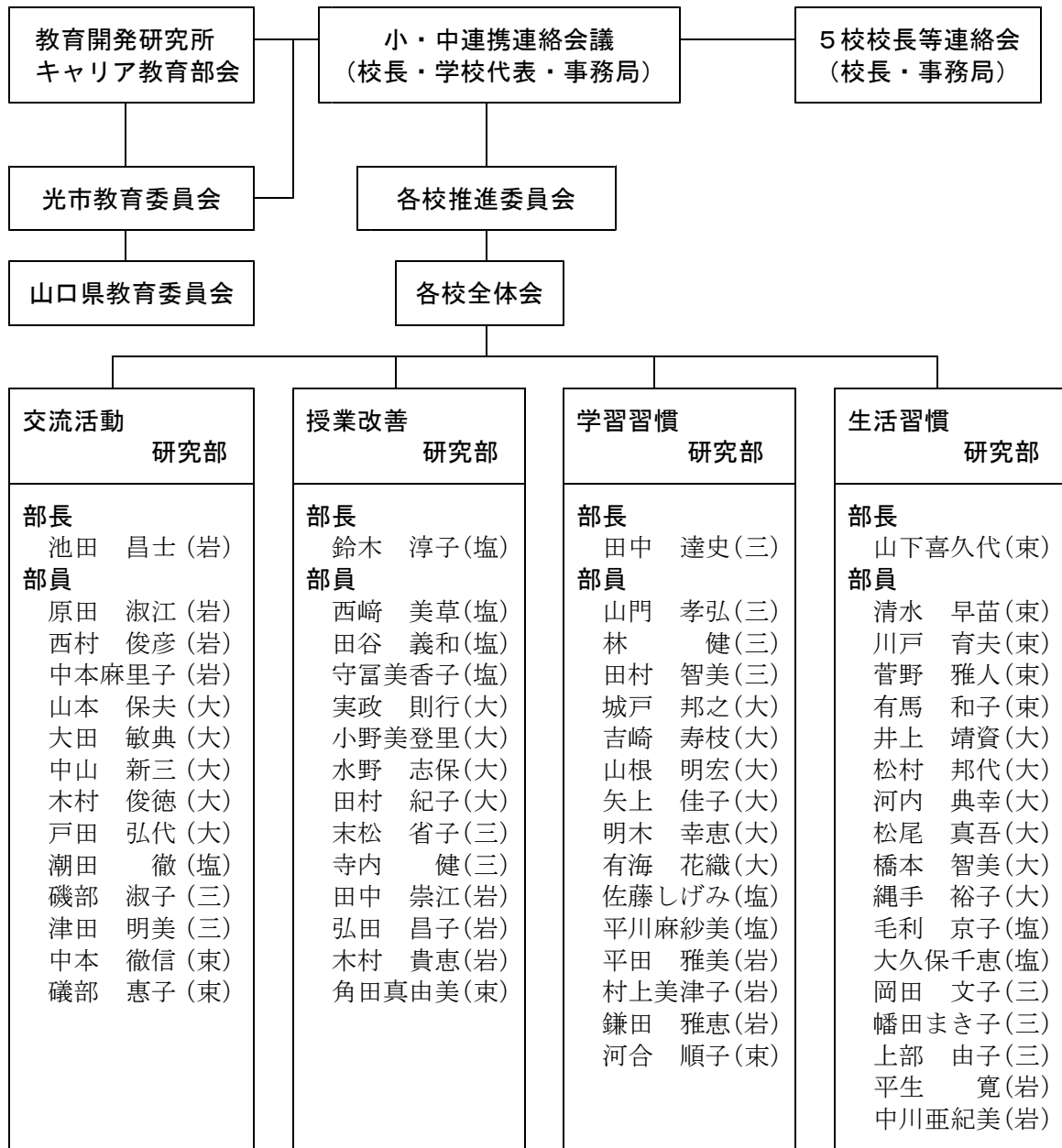
- ・学習意欲を高める家庭学習の在り方の研究を行い、望ましい家庭学習習慣の定着を図る。
- ・9年間を見通した「学習の手引き（学びの基準）」づくりを行うことで、授業規律の向上を図る。

② 生活習慣研究部

- ・学習習慣を支える生活習慣づくりについて研究し、望ましい生活習慣の定着を図る。

全体の取組

4 研修組織



5 今年度の取組と平成23年度に向けて

今年度は、研究を進める上で、《授業改善研究部》《交流活動研究部》《学習習慣研究部》《生活習慣研究部》の4つの部会を組織し、ねらいや目指す児童・生徒像の実現に向けた具体的な協議や取組を行った。授業改善に向けた授業公開・研究会を全小・中学校で実施したり、児童と生徒の交流活動を行ったりするとともに、小・中が共通した内容でアンケート調査を行い、発達段階に配慮しながら共通の「学習のきまり」や「家庭学習の手引き」を作成した。

また、その取組について、各校（各部会）が持ち回りで「連携だより」や「家庭の日キャンペーン」を作成・配布し、保護者や地域への取組の周知を図るとともに、協力の依頼や生活改善のための啓発活動を行った。

平成23年度は、今年度の取組みを土台にした上で、コミュニケーション能力の育成・向上を図るため、《聞く力の育成》《外国語活動と英語科との連携》《小・中の交流学习》（名称は仮称）の3つの部会に再編成し、授業改善に焦点を当てた取組を行う計画である。

《参考資料》

大和地域小・中学校連携だより

H22. 9. 1

共に学び合う 大和っ子 の育成



豊かな自然に囲まれて、伸び伸びと素直に育っている大和地域の小・中学生たち。よく遊び、よく学び、運動面や文化面でも、素晴らしい成果を上げています。

この良さを生かしながら、さらにお互いに尊重し合い、豊かな人間関係のもとで、自ら主体的に学ぶ姿勢を身につけてくれることを願って、今年度から、大和地域の小・中学校5校で連携教育を実施することとなりました。

下の4つの柱を中心に、小学生と中学生が仲良く交流したり、9年間の学びがつながるように授業や家庭学習を改善したりと、保護者・地域の皆様のご理解とご協力をお願いしながら様々な取組みを行ってまいります。

この連携だよりや各学校だよりなどを通して、取組みの紹介、各ご家庭や地域の方へのお願いなどをお伝えします。実りの多い小・中学校連携教育になるよう、ご意見やご感想などがございましたら、各学校までお知らせください。よろしくお願いいたします。

☆ 家庭学習や授業に臨む姿勢など、学習に取り組む上での良い習慣を育てていきます



☆ コミュニケーションの力を育て、思いやりの心が身につくような、交流活動を実施します



☆ 学年に合った自立ができ、元気に学校生活を送れるよう、生活習慣を見直します



☆ 自分の考えをもち、それを伝え合うなど、お互いに学び合い、高め合うことができる授業へと改善していきます



学習習慣研究部

学習習慣研究部会の取組

1 本年度の取組

(1) 部会としての取組

○ 小中連携部会（学習習慣研究部会）

6月 部会 9年間を見通した「学習の手引き」づくり

8月 部会 アンケートの分析により、9月からの取組を検討（協議）

12月 部会 アンケート（第2回目）の分析

各校の取組の反省と今後の課題検討（協議）

○ アンケートの実施

7月 第1回目 1～4年、5・6年に分けて実施

11月 第2回目 1～4年、5・6年に分けて実施



(2) アンケートの分析 1回目

① 平日の家庭学習時間について

・ 小学生では、学年×10分の目安は半数以上の児童は満たしているが、9月以降学習習慣づけ、この割合が増えるように期待したい。中学生の平日の家庭学習習慣が二極化している。

・ 家庭学習時間が少ないので、家庭学習時間を増やすために、テレビ、ゲームのルールづくりが必要。

・ 手引き（案）には、学習時間（1・2年…20分 3・4年…40分 5・6年…60分）と始める時刻を記入（土・日曜日も）するとよい。

② 休日の家庭学習時間について

・ 小学生は、休日の家庭学習が習慣づいているとは言い難い。小・中学生とも平日より休日の家庭学習の方が少ない。

・ 土・日曜日にも、安息、団らん、お手伝いを奨励するとともに、学習の習慣づけと月曜日の準備のため宿題を課した方がよい。

③ 平日の読書時間について

・ 小学生高学年では、休日に1時間程度読書をしたい。中学生の6割強は、平日の読書時間30分以内（まったくしないも含む）は、平日読書する時間そのものがないのかもしれない。

・ 読書時間が少ないので、今後とも読書の楽しさを指導していく。

④ 授業前の準備・着席について

・ 小学生から学習規律をしっかり身につけさせるべきである。中学生の約9割は授業前の準備・着席ができている。

・ 100%達成できるように指導する。

⑤ 授業の目当て（学習課題）の把握

・ 小学生の約8割は授業の目当てをつかんでいる。中学生は、8割は授業の目当てをつかんでいる。

・ めあてを全員の児童が知っておくべきである。

全体的に

・ 家庭学習を習慣化するには、保護者との連携を進めることが大切。参観日、懇談会、各種たより（小中連携だよりの発行）などで啓発していく。

(3) アンケートの分析 第2回目

- ① 平日の家庭学習時間について
 - ・ 小学生・中学生とも学習時間はわずかに増えている傾向が見られる。小学生では「家庭学習の手引き」ができたことにより、学習内容がはっきりしたためか。小学生では「宿題」「塾」など与えられたものをこなしながら習慣化していくが、中学生は主体性や必要感が鍵になってくる。
- ② 休日の家庭学習時間について
 - ・ 時間の長短はあるが、休日にも学習する児童が増えてきた。特に、小学校高学年では学習時間が増えた。
- ③ 平日の読書時間について
 - ・ 学年ごとに見ると多少の変化はあるが、全体で見ると大きな変化は見られない。読書時間の確保については検討が必要。
- ④ 授業前の準備・着席について
 - ・ 11月には「だいたい」「いつも」しているの割合がわずかに上がっており、かなり定着している。しかし、この項目は100%を目指すものである。
- ⑤ 授業の目当て（学習課題）の把握
 - ・ 小学校では改善の傾向にあり、特に高学年で変化が大きい。中学校では全く分からない生徒が減った。教師の側からも、確実に把握させるという意識が必要である。

2 取組の成果と課題

- 学習のきまりについて

どの学年にも対応する基本的な事項に絞って作られており、指導に生かすことができた。児童生徒への意識づけも徐々に進んでいる。小学校から同じ学習のきまりで取り組めば、中学校に進学した際も同じ学習習慣が身につけていることになり、移行が円滑に進む。
- 家庭学習の手引きについて

学習開始時刻や内容・方法など具体的に示したことで、児童生徒にとっても保護者にとっても活用しやすいものでありたい。家庭学習についての必要感が高まってきている。各校とも、少人数であることを生かし、学年に応じた家庭学習についてきめ細かく個別に指導していくとよい。
- その他
 - ・ 自主的・自発的な家庭学習が行われるとともに学習規律が定着するため、授業への集中力や積極性が高まり、学力も向上傾向にある。
 - ・ 小中お互いの情報交換ができ、教員同士の連携や交流ができた。
 - ・ 大和地区全体の統一的な取り組みができよかった。大切なことである。
 - ・ アンケート調査を公表することによって、教職員の授業改善や保護者の行動連携への意識が高まった。

3 今後の課題

- 学習の規律や家庭学習の基礎ができた。今後は、校内はもとより、小小・小中の連携により、さらに質の向上を図りたい。
(できている→自主的にできる段階へと、量的なものから量+質へ 質の高いものをめざす。)
- 校内でそれぞれの部会の情報を共有し、教員の共通理解のもと全校体制で取り組んでいくことが大切である。



10月 実りの秋



読書の秋、芸術の秋、勉学の秋…と、秋はいろいろな形容されますが、それだけ勉強や運動をするのに好季節だと言えます。先日、各小中学校で配布しました「家庭学習の手引き」（中学校は「学習の手引き」）をご覧いただきましたか？

家庭学習の手引きとは？

小中連携での取組の1つは、「家庭学習の手引き」の実施です。

これまで各小中学校でバラバラに取り組んでいたものを、小中学校の教員で話し合い、規準を決めて9月から取組を始めました。

来年から文部科学省が示す新学習指導要領が実施されます。教科書の内容も3割ほど増えますが、背景には学力の向上という国の方針によるところがあります。もっと身近に言えば、小中学校を卒業するまでには、これだけは習得しておきたいこと、「基礎・基本」を身に付けさせたいという願いがあります。



この度、小中学校で教員がお互いに授業を見せ合い、改善を図ろうとする取組もありますが、基礎・基本を身に付けるためには、家庭でも「読み、書き、計算」の学習などきちんとしてほしい、かつ、自主勉強や読書にも取り組んでほしいと考えています。

そのためには、まず机について学習をする習慣をつけることが大切です。何も学習机に限ったことでなく、ダイニングテーブルでもかまいません。ただ、テレビやゲームの電源は切って、決まった時間を集中してがんばってほしいです。

家庭学習時間の目安は？

手引きに示してある学習時間の目安は、

小学校低学年で20分、中学年で40分、高学年で60分、
中学校1学年で60分、2・3学年で90分です。

学習のきまりとは？

小中連携でのもう1つの取組は、学習のきまりの徹底です。

このきまりを守ることによって、自分やまわりの人が授業に集中することが容易になると考え、全ての学校で取り組んでいます。

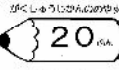
- ① 授業が終わったら、次の授業の準備をして休憩に入る。
- ② 早めに着席し、授業の心構えをつくる。
- ③ 先生の話や友達の発表を最後まで黙って聞く。
- ④ 自分の意見をはっきりと聞こえる声で話す。
- ⑤ 学習したことをノートに丁寧に書く。
- ⑥ 背筋を伸ばした姿勢ですわる。

保護者の皆様からは、「うちの子にはもっと発展的なことを…」とか「うちの子にはちょっと無理がある」といった声も聞かれそうですが、各学校では、学習・生活の両面で個々の子どもに応じた指導を行っていますので、学校（学級担任ほか）と連携しながら、共に学び合う「大和っ子の育成」のため、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

《参考資料2》

かていがくしゅうのてびき

1・2ねんせい



1 はじめる時こく

げつようび	かようび	すいようび	もくようび
し ぶん	し ぶん	し ぶん	し ぶん
さんようび		ごようび	にちようび
し ぶん	し ぶん	し ぶん	し ぶん

2 はじめるまえに

- ◇ がっこうからのおてがみをおうちのひとにわたしましょう。
- ◇ つくえのうえやまわりをせいとんしましょう。
- ◇ テレビや音楽は消し、集中して学習しましょう。

3 かていがくしゅうのすすめかた

- ★ はじめに、しゅくだいをしましょう。
きほんセット（ほんよみ・じのれんしゅう・けいさんれんしゅう）
- ★ しゅくだいがおわったら、こんなことをしてみましょう。
 - ① きょうかじのめんしょうを、はつきりしたこえでよみましょう。
 - ② 「 」のよみかたにきをつけてよんでみましょう。
 - ③ ひらがなやかたかなをたたくかくれんしゅうをしましょう。
 - ④ かんじのかきじゅんやおろのがなにきをつけてかくれんしゅうをしましょう。
 - ⑤ テストでまちがえたかんじのことばについて、ノートでたたくおてがみを書いてみましょう。
 - ⑥ きょうかじのめんしょうで、この日にこたえたりするところをノートにききうつしてみましょう。
 - ⑦ にっきをつけてみましょう。
 - ⑧ さんすうのじゅぎょうでやったもんだいをもういちどやってみましょう。

4 がくしゅうがはついたら

- ◇ おうちのひとにみてもらいましょう。
- ◇ えんぴつをけりすっておきましょう。
- ◇ れんらくちょうをみて、あしたのよういをしましょう。
- ◇ つくえのうえやまわりをせいとんしましょう。



家庭学習の手引き

3・4年



1 はじめる時こく

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日
時 分	時 分	時 分	時 分
金曜日		土曜日	日曜日
時 分	時 分	時 分	時 分

2 はじめる前に

- ◇ かばんの中を整理し、学校からのプリントなどをおうちのひとにわたしましょう。
- ◇ 机の！やまわりを整理しましょう。
- ◇ てきとうになりたいこと、調べてみたいことを決めましょう。
- ◇ テレビや音楽は消し、集中して学習しましょう。

3 家庭学習のすすめかた

- ★ はじめに、宿題をしましょう。
基本セット（音読・漢字練習・計算練習）
- ★ 宿題が終わったら、こんなことをしてみましょう。
 - ① はつきりとした声で音読の練習をする。（大きい声で 正確に）
 - ② 一日の振り返りとして、したことや思ったことを日記に書く。
 - ③ ドリルなどを使って、つじゅんにきをつけてながら漢字の練習を始める。
 - ④ その日の授業で勉強した問題を、もう一度ノートに整理して直す。
 - ⑤ ドリルなどを使って、計算問題や前問問題を解いてみる。
 - ⑥ 分からない言葉や辞書で調べる。
 - ⑦ テストやプリントでまちがったところをもう一度やり直してみる。
 - ⑧ きょうみのあることについて、本やインターネットなどで調べてみる。

4 学習が終わったら

- ◇ 筆箱の鉛筆をけりすっておきましょう。
- ◇ 連絡帳を確かめて、明日の用意をしましょう。
- ◇ 机の上や床などごとの整理をしましょう。



家庭学習の手引き

5・6年



1 はじめる時こく

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日
時 分	時 分	時 分	時 分
金曜日		土曜日	日曜日
時 分	時 分	時 分	時 分

2 はじめる前に

- ◇ かばんの中を整理し、学校からのプリントなどをおうちのひとにわたしましょう。
- ◇ 机の上やまわりを整理しましょう。
- ◇ 復習や予習、できるようにしたいこと、調べてみたいことを決めましょう。
- ◇ テレビや音楽は消し、集中して学習しましょう。

3 家庭学習のすすめかた

- ★ はじめに、宿題をしましょう。
基本セット（音読・漢字練習・計算練習）
- ★ 宿題が終わったら、こんなことをしてみましょう。
 - ① はつきりとした声で音読の練習をする。（内容をしっかり）
 - ② 一日の振り返りとして、したことや思ったことを日記に書く。
 - ③ ドリルなどを使って、集中してきをつけてながら漢字の練習を始める。
 - ④ その日の授業で勉強した問題を、もう一度ノートに整理して直す。
 - ⑤ ドリルなどを使って、計算問題や前問問題を解いてみる。
 - ⑥ 分からない言葉や辞書で調べる。
 - ⑦ テストやプリントでまちがったところをもう一度やり直してみる。
 - ⑧ 次の日の学習内容について、教科書をしっかり読み、ノートにまとめてみる。

4 学習が終わったら

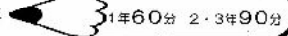
- ◇ 筆箱の鉛筆をけりすっておきましょう。
- ◇ 連絡帳を確かめて、明日の用意をしましょう。
- ◇ 机の上や床などごとの整理をしましょう。



家庭学習の手引き

学習研究部

中学生



1 はじめる時こく

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日
時 分	時 分	時 分	時 分
金曜日		土曜日	日曜日
時 分	時 分	時 分	時 分

2 はじめる前に

- ◇ かばんの中を整理し、学校からのプリントなどを家のひとにわたしましょう。
- ◇ 机の上やまわりを整理しましょう。
- ◇ 復習や予習の内容、できるようにしたいこと、調べてみたいことを決めましょう。
- ◇ テレビや音楽は消し、集中して学習しましょう。

3 家庭学習のすすめかた

- ★ はじめに、宿題をしましょう。
＜基本＞ 二百字辞書を使って、単語に気をつけて漢字を毎日音読練習する。
＜英単語＞ ノートを使って、重要英単語や英文を毎日1ページ練習する。
＜日記＞ 一日の振り返りとして、その日の出来事や思ったことを「家」に書く。
＜その他の宿題＞
- ★ 宿題が終わったら、自主学習をしてみましょう。
 - ① その日の授業で勉強した内容を、もう一度ノートに整理して直す。
 - ② 分からない言葉や辞書で調べる。
 - ③ ノートやプリントでまちがったところをもう一度やり直してみる。
 - ④ 練習問題や前問問題を解いてみる。
 - ⑤ 次の日の学習内容について、教科書をしっかり読み、ノートにまとめてみる。
 - ⑥ 本や新聞を読んで、感想をまとめる。
 - ⑦ 宿題で不足分だと気づくところを調べてみる。

4 学習が終わったら

- ◇ 明日の用意を確かめて、用意をしましょう。
- ◇ 机の上やまわりを整理しましょう。



生活習慣研究部会の取組

1 本年度の取組

(1) 第1回 生活習慣研究部会

- ① 5校の生活習慣（学習習慣を支える）に関する実態と課題
 - ・中学校では、私生活を改善していきたい。
 - ・小学校では、「早寝・早起き・朝ご飯」などの生活リズムをつけることに重点をおいている学校が多い。
 - ・保護者にも投げかけていく。
 - ・中学校の保健調査の結果、テレビの視聴時間が長く、睡眠時間が少ない。
 - ② 課題となる共通実践項目
 - ・授業の集中力を高めていく
 - ・言葉遣い
返事、あいさつ（すみません、ありがとうなど）
 - ・前の日の準備
忘れ物をしない
 - ・聞く力をつける（授業だけでなく、生活の中でも人の話を素直に受け入れることができない子が増えている。）
 - ・身構え、物構え、心構え
 - ③ 研究の柱
 - 自立していく習慣づくり
自立をキーワードにして目指す児童像、生徒像を考える
発達段階に応じた「自立」の内容を考え取り組む
 - 家庭のバックアップ
家庭へのアプローチの仕方を考え取り組む
 - ④ アンケート（案）について
 - ・前日に次の日の準備ができているか
 - ・自分で起きることができるか（何時に起きるか、どのようにして）
 - ・朝ご飯を食べている（食べたもの）
 - ・人の話を最後まで聞くことができる
 - ・何時に寝るか
 - ・自分からあいさつができる（おはよう、さようなら、ありがとうなど）
- ※ 月曜日の朝に実施するとよい

(2) 第2回 生活習慣研究部会

① 第1回アンケート調査結果の考察と課題

（各校から）

- ・就寝時刻：小学生の11時以降は遅い。睡眠時間をしっかりとる。
- ・起床時刻：午前7時以降では朝食や始業時刻から考えると遅い。
- ・起床方法：学年が上がるにつれて自分で起きるように。
- ・朝食の内容：副食までとる子が少ない。（3割）
保護者への発信も必要（講演会等）
- ・あいさつ：子どもとの意識のずれがある。
きまったあいさつはできるが、お客さんや子ども同士ができていない。
誰にでも、進んで、元気よく、自分から、気持ちをこめて（感謝）
- ・次の日の準備：できていても忘れ物が多い。仕方に問題

② 9月からの具体的な取組事項（共通実践項目）

○ 自立していく習慣づくり

- ・身構え（自分で決めた時刻に自分で起きる）：規則正しい生活リズムを養う
- ・物構え（忘れ物をしない）：学習に集中して取り組むための学習準備
- ・心構え（心のこもったあいさつをする）：コミュニケーションをとる

※ 取組方法については、各校で工夫して取り組む。

なぜ大切なのか、子どもが自分で考えて取り組むような支援を考える。

○ 家庭への働きかけ

- ・保護者・地域へ「たより」等で呼びかける。
- ・アンケート結果や取組について周知する必要がある。

※ 8/26 小中連携連絡会議で協議の結果

- 「小中連携だより」を保護者・地域へ出して、小中連携の取組について発信
- 1号（9月初め）：大和中
 - 2号（9月中旬）：東荷小
 - 3号（10月初め）：三輪中
 - 4号（11月）：岩田小
 - 5号（12月）：塩田小

- ・キャンペーンの実施：同日に大和地域全体で取り組む。

実施日：毎月1回（家庭の日）

今後は、平日の実施も考える

内 容：「朝ご飯を一緒につくって食べよう」

その他、「読書」「ウォーキング」など随時、内容を考えて取り組む。

※ 保護者から簡単な朝食レシピのアイデアの募集、その紹介なども

③ めざす児童・生徒像

「元気に学校生活を送る子ども」

元気に → 心も体も元気な子ども

学校生活を送る → 自分で考えて送る（自立）

(3) 第3回 生活習慣研究部会

① 第2回 アンケート結果の考察

(塩田小) ・就寝時刻が遅くなっているので起床時刻も遅くなる傾向がある。

・友達同士のあいさつは、難しい。

(岩田小) ・あいさつは盛ん。(高学年の良いところを低学年が見習っている。)

(三輪小) ・就寝時刻は、改善された。

・起床時刻は遅くなってきているが1時間前には起きることができている。

・朝食は、充実している。

・あいさつは、少しずつ良くなっている。

・忘れ物も少なくなっている。

(東荷小) 大和中校区における全体的な傾向を中心に説明

・就寝時刻は少しずつ良い傾向にある。

・午前6時までに起床している割合は、小学校では減っているが中学校では増えている。

・あいさつを「いつもしている」児童の割合は小学校では減っていて中学校では増えている。

・学習用具の準備が「いつも大体」できている割合は、小学校では減ってきているが、中学校では増えてきている。(ただ中学校では60%未満なのでまだまだ不十分)

(大和中) ・比較的、忘れ物は少なくなる傾向にある。

・あいさつを自分からできる生徒が増えている。

・就寝時刻は中1から中3になるにつれて遅くなる傾向

(1/3の生徒は睡眠時間の確保ができていない。)

・朝食は(主食+飲物)が多く、ピザを朝食に食べてくる生徒もいる。

・目的意識があると自分から起きようとする力も出てくる。

(1・2年生は、駅伝の練習のために朝の7時10分から走っている。)

② 各校から出た課題

○ 児童や生徒は、指導していくと意識が高まっていくのだが、保護者の意識を変えていくことが難しい。

○ 同じ事を何度もくり返して指導していかないとなかなか定着していかない。

○ 家庭学習、読書、塾、習い事、スポ少、友達との遊び、家族のふれあいなどをすべてきちんとこなしていこうとすると就寝時刻が遅くなってしまう。学校外の時間を上手に使っていくように指導していく必要がある。

③ 今後の取組

○ 自立に向けての実践的な取組を各校で持ち寄り、中間報告の資料とする。

・身構え(自分で決めた時刻に自分で起きる))

小学校では、起床時刻を決め、睡眠時間の必要性を指導して、寝る時刻を決めさせる。[参考資料-自己カード(岩田小) すこやかチェックカード(東荷小)]

・物構え(忘れ物をしない)

各校での具体的な指導に関する取組を紹介する。

・心構え(心のこもったあいさつをする)

引き続き指導を継続していき、具体的な実践事例を紹介する。

○ 生活習慣研究部のキャンペーンは、親子での朝食作りを年度末まで継続する。

※ キャンペーンを「生活習慣研究部便り」という名称に変更して、生活習慣研究部会が目指す自立に向けての内容を中心に取組んだ方がよいのでは、という意見も出てきたが、「大和地域小・中学校連携だより」と内容が重なるという意見もあり、キャンペーンのスタイルを継続していくことで話がまとまった。

・内容(表面-親子での朝食作り その他は、各校の創意で内容は工夫)

※ レシピ紹介など [参考資料-三輪小(～したよカード)]

・各校の回り持ちで作成(内容A4サイズ1枚 家庭の日に配布)

12月：塩田小 1月：岩田小 2月：三輪小 3月：大和中

2 取組の成果と課題

(1) 成果

自立していく習慣づくりをめざして、各校の実態に合わせて自己カードやすこやかチェックカードなどを工夫して取り組み、改善が見られた。2回目のアンケート結果から、特に小学校では夜遅くまで起きている児童が減った。中学校では、自分で起きると答えた生徒が増えた。あいさつについては、全体的に良い傾向にある。

毎月家庭の日に「親子で朝食作り」のキャンペーンを実施し、各校が分担してお知らせを配布した。一部の家庭からではあるが、親子で朝ご飯を作った感想やその様子を撮った写真が寄せられ、朝食の大切さを見直す家庭が増えた。

(2) 課題


児童・生徒については、あいさつなど様々な方法を工夫しながら実践を繰り返すことによって、意識が高まり効果が見られるが、生活リズムの定着等は、各家庭の今までの生活習慣の根本を変えないと難しい面がある。保護者の意識をいかに変えていくか、いかに学校の思いを伝え、家庭と連携していくか大きな課題である。

また、規則正しい生活リズムの定着のために、睡眠時間の確保が重要であるが、高学年になるほど、家庭学習、読書、スポ少、遊び、家族のふれあい等、すべてをきちんとしようとする、就寝時間が遅くなってしまふ。学校外の時間をいかに上手に使いこなすか、指導していく必要がある。今後もアンケートの数値に現れない児童・生徒の実態をつかみ、家庭と連携しながら個別の指導に力を入れていくことも必要である。

大和地域小・中学校連携だより

NO. 2 H22. 9. 15

共に学び合う **大和っ子** の育成



9月半ばに入り、日中はまだ夏のような日差しが続いていますが、朝晩は秋らしく涼しくなってきました。中学校は体育祭が終わり、塩田・東荷小学校は今週末、運動会が行われる予定です。これから、秋の深まりとともに、「スポーツの秋」「読書の秋」「芸術の秋」と、実りがいっぱいの秋になるよう、取り組んでいきたいものです。

さて、今回の連携だよりでは、4つの柱の一つ、生活習慣研究部会の取組みについて、ご紹介します。

生活習慣研究部会のめざす児童・生徒像
元気に学校生活を送る子ども(自立)
 「自分で考えながら、心も体も元気に学校生活を送る」

自立のためのステップ1

身構え 自分で決めた時刻に自分で起きる

・元気な1日のスタートは、気持ちの良い朝の目覚めです。
 毎朝決まった時刻に自分で起きることによって規則正しい生活のリズムができます。



自立のためのステップ2

物構え 忘れ物をしない

・学習に集中して取り組むための第1歩は、学習の準備がきちんと整っていることです。そのために、忘れ物をしないことが大切です。



自立のためのステップ3

心構え 心のこもったあいさつをする

・コミュニケーションをとる一番のよい方法は、あいさつです。いつでも、どこでも、だれとでも、あいさつをすることで、気持ちがかよあいます。



☆各校で工夫しながら取り組んでいます。ご家庭・地域の皆様にもご理解ご協力をお願いします。

キャンペーンのお知らせ **親子で朝食を作って食べよう**
 第1回目 9月19日(日) (毎月第3日曜日家庭の日 大和地域で実施)
 ※ 運動会実施の塩田小・東荷小校区は、翌日でも

《参考資料1》

交流活動研究部会の取組

1 本年度の取組

誰とでも進んでコミュニケーションをとることができる思いやりの心を持った児童・生徒を育成するため、中学生一人ひとりのよさが生かされるような小学生との新しい交流学習を計画し、実践する。

- ① 各小学校で希望する交流学習を計画し、中学校に届ける。(中学生は自分の得意なもの、小学生はやってみたいもの)
- ② 中学校は、小学校から出された計画をもとに生徒の希望をとる。
- ③ 中学生は事前に小学校を訪れ打ち合わせをする。
- ④ 実施前に一人ひとりがねらいを持ち、実施後はアンケートによる自己評価と感想をとる。



2 取組の成果と課題

① 取組の成果

- 実施後の自己評価で「交流は楽しかったか」の項目に、ほとんど全員が「思う」「まあまあ思う」という肯定的な評価をした。
- 中学生にリーダーとしての自信と自覚が生まれた。
- 中学生は、小学生に思いやりの心を持ち、小学生は中学生にあこがれの心を持つことができた。
- 小学校6年生が、中学校生活への不安が少なくなった。
- 非常に有意義な学習なので、来年度以降も実施する。

② 反省・課題



- 活動ばかりでなく、児童生徒が話し合う時間を多く計画する。
- 打ち合わせの日から実施日まで準備期間を十分とる。
- ゆとりをもって行える時期を選ぶ。

《参考資料1》

小中交流活動 実施について						
学校名	対象学年	児童数	中学生希望人数	時間(分)	活動内容	具体的内容、要望・配慮事項
東荷小学校 (5校時)	全校	26	20	45	交流のできる レクやゲーム	・レクの内容は通学校で企画(体育館) (自己紹介が入ったり、顔合わせ的要素も取り入れて始めたりしながら・・・) ・子どもたちが楽しめるものになると嬉しいです。
東荷小学校 (6校時)	3, 4年	10	10	45	ドッジボールやサッカー(かくれんぼ) <運動場で>	
東荷小学校 (6校時)	5, 6年	13	10	45	バスケットボールと卓球 <体育館で> 片面:バスケット 片面:卓球	<前半> うまくなるための練習の仕方、うまくできるコツ、技や手本を見せてもらう、など。 <後半> ゲーム普段できない中学生とチームになり、ゲームをしたい。 ※5・6年生はバスケットか卓球か、希望 コースに分かれて行う。
塩田小学校	全校	36	15	時間 未定	体育館でのAPPY等を用いたレクリエーション活動	塩田小学校の児童は、大勢の中での活動経験が少ないので、全校生徒に中学生を入れて、多人数での活動をしように思います。明るく元気に楽しくレクをしたい中学生をぜひ来てほしいと思います。具体的な内容については検討中です。打ち合わせのときにレクの仕方について説明します。
三輪小学校	1,,2	27	7	45	(学活)パソコンに挑戦しよう ・パソコンの立ち上げ方 ・お絵描きソフトを使って、絵を描く。	パスワードの入力方法、マウスの使い方などを個別に教えていただきたいです。
三輪小学校	3	15	8	45	(音楽)・吹奏楽などの演奏を聴く。 ・楽器にふれる体験	3人か2人で、ひとつの楽器体験ができればうれしいです。
三輪小学校	4	17	6	45	(体育)ソフトバレーボール・ルール・基本的な動作	3人の児童に一人の生徒がついてくたされれば助かります。
三輪小学校	5	13	10	100	(家庭)ミシン縫い・手縫い ・上糸、下糸のかけ方 ・返し縫い、方向転換	ミシン(自動)5台です。ミシングループ、手縫いグループに分け、途中で交代したいと思います。
三輪小学校	6	13	5	45	(学活)中学校の生活について学ぶ。 勉強、クラブ、生活	中学校の生活について教えてもらい、質問に答えてほしいです。
岩田小学校	1	31	16	45	パソコンでお絵かき	1年生2人に中学生1人
岩田小学校	2	13	9	45	九九の学習	2年生2人に中学生1人 九九のできる人
岩田小学校	3	25	6	45	吹奏楽(特に管楽器)	曲が演奏できる人 楽器演奏体験
岩田小学校	4	29	10	45	読み聞かせ 又はテーマを決めて ブックトーク	29人を4グループか5グループに分けて、4年生にふさわしい本の読み聞かせをしてほしい。小学校の頃読んだ本でもおもしろかったものなどの簡単なあらすじと本の紹介をしてほしい。
岩田小学校	5	20	4	45	長距離走のコツ	・陸上部(長距離)の方 ・走り方のフォーム、練習方法などを教えてほしい。(校内マラソン大会に向けて)
岩田小学校	6	20	7	45	楽器使用体験 打楽器・管楽器等	ドレミの指導・楽器の紹介 簡単な演奏体験
岩田小学校	6	20	2	45	ホームステイ体験の話聞く。 英語ゲームをする。	
岩田小学校	支援	1	3	45	読み聞かせ・カルタとりなど	特になし

共に学び合う

の育成

木利っ子



11月16日(火)午後、大和中学校の1、2年生と大和地域の小学生とで「ふれあい交流活動」をしました。各小学校の希望する活動に
対して、中学生が小学校に行き、いろいろなことを教えてくれました。小学
生も中学生もとてもいい機会を、活動していました。互いに有意義な交流
ができたと思います。子どもたちの感想の一部をお知らせします。

＜小中ふれあい交流活動の内容＞

学校名	学 年	活 動 名
大和地域小 三輪小学校	全 校	レクレーション
	1・2年	パソコン操作
	3年	楽器演奏
	4年	ソフトバレー
	5年	ミニン操作
	6年	中学校生活の話
岩田小学校	1年	パソコン操作
	2年	かけざん
	3年	楽器演奏
	4年	読み聞かせ
	5年	ポートホール
	6年	読み聞かせ・ゲーム
東荷小学校	6年1組	楽器演奏
	6年2組	ホームステイの話・英語ゲーム
	全 校	レクレーション
	3・4年	かくれんぼとドッジボール
	5・6年	バスケットボール
	5・6年	卓球



大和地域小・中学校連携だより

＜大和地域小・中学校連携だより＞

この交流会でたくさんさんのことを学ぶことができた。最初は、不安と緊張がすごかったけれど、大和地域小の子どもが明るくあんなに楽しそうに話してくれたので、うれしかった。また、ゲームという気持ちがより強くなった。みんなで、名前を覚えて、お名前を呼ぶことができた。どの子どもも笑顔で夢中になった。遊んで、大和地域小の子どもと交流することができた。最終的に目標が達成できた。思い出します。90%くらいは達成できたことを感謝しています。見て、聞いて、自分たちで楽しんで、90%くらいは達成できたことを感謝しています。最終的に目標が達成できたことを感謝しています。見て、聞いて、自分たちで楽しんで、90%くらいは達成できたことを感謝しています。

＜大和地域小・中学校連携だより＞

今回の交流では、自分の楽器を小学生に紹介したり、いろいろな質問を受けたりしました。小学生に質問されたなかで、私も分からなかったところがあり、私自身も学ぶところがありました。小学生とエレクトーンを吹いたり、私たちが曲を聞いてもらったり、小学生たちがいろいろ聞いてくれて、すごくうれしかったです。曲がかわって、「あれがどう」という気持ちでいる時間がきて、小学生にリコーダーを教える一人ずつ順番に回り、分らないところを教えられました。少し教えるだけで、みんな覚えが早く、すぐにふけるようになりました。また、このような交流をしたいです。

＜岩田小学校1年 パソコン操作＞

前にした調音機では、自分が通っていた小学校だったので、知っている人はかなり多く、おもしろいと感じました。今後は、大和地域小の子どもと一緒に勉強したいです。当分の間は、おもしろいと感じました。大和地域小の子どもと一緒に勉強したいです。大和地域小の子どもと一緒に勉強したいです。大和地域小の子どもと一緒に勉強したいです。

＜東荷小学校 レクレーションとバスケットボール＞

最初は、小学生と遊ぶというところでゲームの内容を説明しなければならなかったのですが、おもしろいと感じました。小学生と遊ぶというところでゲームの内容を説明しなければならなかったのですが、おもしろいと感じました。小学生と遊ぶというところでゲームの内容を説明しなければならなかったのですが、おもしろいと感じました。

如田小学校児童の感想

◯ レクレーション
名前が分かったのよかったです。お友達と遊んで楽しかったです。お友達と遊んで楽しかったです。お友達と遊んで楽しかったです。



◯ この交流活動は、とても楽しかったです。お友達と遊んで楽しかったです。お友達と遊んで楽しかったです。お友達と遊んで楽しかったです。



三輪小学校児童の感想

◯ パソコン
お友達と遊んで楽しかったです。お友達と遊んで楽しかったです。お友達と遊んで楽しかったです。お友達と遊んで楽しかったです。

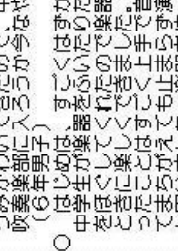


◯ パソコン
お友達と遊んで楽しかったです。お友達と遊んで楽しかったです。お友達と遊んで楽しかったです。お友達と遊んで楽しかったです。



岩田小学校児童の感想

◯ 音楽
お友達と遊んで楽しかったです。お友達と遊んで楽しかったです。お友達と遊んで楽しかったです。お友達と遊んで楽しかったです。



◯ 音楽
お友達と遊んで楽しかったです。お友達と遊んで楽しかったです。お友達と遊んで楽しかったです。お友達と遊んで楽しかったです。



東岸小学校児童の感想

◯ レクレーション
お友達と遊んで楽しかったです。お友達と遊んで楽しかったです。お友達と遊んで楽しかったです。お友達と遊んで楽しかったです。



◯ レクレーション
お友達と遊んで楽しかったです。お友達と遊んで楽しかったです。お友達と遊んで楽しかったです。お友達と遊んで楽しかったです。



1 本年度の取組

研究の重点

学び合いの場を工夫した授業づくり（全ての授業を対象に）
（かかわり合い、集団づくり、コミュニケーション能力の育成）

(1) 求める児童生徒像の設定

5校の児童生徒の現状を情報交換し、各校の取組や実情について互いに理解していく中で、「聞く」「話す」「話し合い」に必要な力や態度を育てようと各校独自で取り組んではいるものの、「自分の考えがなかなか発表できない子どもがいる」「教師や友達の話聞いても、分かったことや疑問に思うことを発言できない」「発言や発表をつなげる（広げる、深める）ことがなかなか難しい」「発表や話し合いの時間や場を十分確保できない」「グループでの話し合いがうまく進まない」「話し合いの進行や集約ができる子どもが育っていない」など、多くの課題が出された。中学校における課題を解決するために小学校での指導を見直すことや、各小学校での取組や成果を生かした中学校での指導の工夫も必要であることが再認識され、子どもを育てるためには、共通の方向性を持ち、5校で連携・協力しながら指導の工夫・改善に努めなければならないと考えた。そこで、ワークショップ形式で「授業における学び合う児童生徒の具体的な姿」について協議を行い、共通の「求める児童生徒像」を設定して、授業改善に取り組むことにした。（参考資料1）

(2) 授業改善のための共通方針の設定と実践

これまでは、各校独自に研修を行い、授業改善に取り組んできたが、大和地域の5校で「共に子どもを育てる」という連携意識を高め、協働体制で授業改善を行うために、授業実践の進め方について共通方針を決定し、取り組むことにした。

① 授業づくりの視点

共通の授業づくりの視点をふまえて授業計画（単元計画、本時の計画）を立て、授業の工夫・改善に取り組むようにした。

授業づくりの視点

自分の考えをもち、伝える場の設定

② 授業交流（授業公開と授業研究）

各校の子どもの実態や授業の様子を理解するとともに、授業改善を進めるためには、授業交流が必要である。そこで、一年次は5校の現状をふまえ、以下のような形で授業公開と授業研究を進めることにした。

授業交流

- 授業公開は各校1回ずつ開催
- 教職員は他校の授業公開を1回参観する（複数可）
- 授業評価（参観者）を活用する
- 授業研究会（研究協議等）は会場校に任せる

③ 授業評価の評価項目

参観者が共通の観点で授業評価を行い、研究協議や今後の授業づくりに生かしていくようにした。

評価項目

- ・「明確に課題を提示したか」
- ・「自分の考えをもたせる授業の工夫ができたか」
- ・「伝え合う場の工夫ができたか」

④ 授業実践と考察

各校で行った授業公開と授業研究、日々の授業実践については、各校で考察を行い、それをもとに授業改善研究会で協議し、成果と課題を明らかにした。（成果と課題は「2取組の成果と課題」で後述。授業公開ごとの指導案や考察は別冊資料参照）

授業公開では、授業づくりの視点と授業評価の観点をふまえて授業を行った。

東荷小学校の国語の授業では、少人数の1・2年生複式学級で同時導入による課題提示をしたり、本時の流れが示されたホワイトボードをもとに見通しをもって一人学びに取り組みさせた後、異学年交流の場を設定して伝え合う場を工夫した。

三輪小学校の4年生算数の授業では、電子黒板を活用したり、考えを記入し何度も書き直すことができるワークシート（ホワイトボード）を用意し、グループ内での話し合いや全体でのグループ発表と話し合いの場を設定したりするなど工夫をした。

岩田小学校の5年生図工の授業では、名探偵ゲーム（絵画鑑賞）やロールプレイクイズを取り入れて児童の関心や興味を高めるとともに、話し合いのポイントを確認した上でグループ活動を行うなどして、児童に考えをもたせ伝え合う場を工夫した。

大和中学校の2年生学級活動の授業では、AFPY（山口県人間関係づくり）を取り入れ、リレー習字を通して、一人一人が参画でき、互いのかかわりを深め、共同で一つのものを作り上げていくというグループ活動を設定することで、伝え合う場の充実を図った。

塩田小学校の5・6年生外国語活動の授業では、教師と児童、児童と児童による英語でのやり取りを多く取り入れたり、ゲームやアクティビティを行う前に方法やルールをALTとHRTがモデルとなって示したりして、テンポよく円滑に授業を展開した。相手に英語で尋ねることでカードを手に入れるというアクティビティを仕組むなどして、必然性のあるコミュニケーション活動や場面を設定した。

大和中学校の1年生外国語の授業では、小学校で学習した英語ノートのピクチャーカードを導入で用いたり、ペアワークやグループワークを積極的に取り入れ、本時で学習した表現を生徒同士で会話できる場を設定した。

このように、各校での授業公開では、教師の働きかけ、教材教具、ワークシート、学習内容や形態等々を工夫しながら、伝え合う場を活性化し、充実させる工夫を行ってきた。

授業公開においても、日々の実践においても、児童生徒の学ぶ姿は少しずつ変容しつつあるものの、「聞く」「話す」「話し合い」に必要な力や態度が向上してきたことを実感できるまでには至っていない。今後も授業づくりの視点と授業評価の観点をふまえて授業改善に取り組みたい。

(3) 授業に関するアンケートの実施と分析

7月と11月にアンケートを実施し、児童生徒の実態や変容を把握するようにした。

— <アンケート質問項目> —

- ・ 普段の授業では、ほかの生徒の話や意見をよく聞いていますか
- ・ 普段の授業では、ほかの生徒とよく話し合っていますか
- ・ 学校の授業などで、自分の考えをほかの人に説明したり、文章に書いたりするのは難しいですか
- ・ 外国語活動（英語）の授業は好きですか。
- ・ 外国語活動（英語）の授業は分かりやすいですか
- ・ 外国語活動（英語）の授業で、先生や生徒と英語で会話するのは好きですか
- ・ 英語の授業で、英文を読むことは好きですか
- ・ 英語の授業で、英文を書くことは好きですか
- ・ 外国語活動（英語）の授業で、外国の文化を勉強するのは好きですか

第1回アンケート結果と第2回アンケート結果とを比較考察すると、大まかではあるが、次のようなことが成果・課題としてあげられる。

授業改善研究部

< 成 果 >

- ・全般的に、教師の児童生徒に対する意識よりも、児童生徒によるアンケート結果の方がより肯定的である。
- ・ほとんどの項目で否定的評価が減り、全体的に底上げされている。特に、外国語活動と外国語科に関する問いで児童生徒の自己評価が高くなっている。
- ・中学校の外国語科では、だれでもできる学習活動を増やし、何度も繰り返し復習するなど、全員への参加意欲を高めてきた。特に中2で、その成果がアンケート結果に表れている。

< 課 題 >

- ・肯定的な評価は増加したものの、最も高い評価をした児童生徒は減っている。自己評価がやや下がっている児童生徒がいると思われる。
- ・「自分の考えを他の人に説明したり、文に書いたりするのは難しい」と感じている児童生徒が多く、改善が見られない。

(4) 外国語活動・外国語科の授業改善

研究の重点

外国語活動と外国語科におけるコミュニケーション能力の向上
～ 外国語活動と外国語科のつながりを重視した授業づくり ～

① 小学校における授業の工夫 (クラスルーム・イングリッシュ)

中学校の授業での理解を容易にするために、中学校で使うクラスルーム・イングリッシュを小学校段階から使用することにした。

② 中学校における授業の工夫

4つの小学校では、どの学校でも英語ノートとそのデジタル教材(電子黒板)を使用しているので、それを活用することからスタートすることにした。音声(聴くと話す)をベースにした小学校の学習を生かして中学校の学習内容(読む、書く、文法等)を指導することで子どもの抵抗感をなくし、理解を促し、興味関心を高めることができると考え、まずは小学校英語ノートのデジタル教材(電子黒板)やピクチャーカードを復習として活用してみることにした。

③ 中学校で活用できる小学校年間指導計画の作成

小学校での学習状況(アクティビティ、表現、教材等)を十分把握していないため、小学校の学習経験を生かした中学校での授業づくりができていないということが分かった。そこで、4校が協力して中学校で活用できる小学校年間指導計画(小学校の学習状況を把握できるもの)を作成した。年間指導計画に盛り込んだ内容は、「タイトル」「指導内容」「扱う表現」「Song」「Chant」「Activity」「Play(ゲーム)」「Listening」「Word」「教材」である。今後は外国語活動と外国語科の関連を明記した小学校及び中学校の年間指導計画を整備し、つながりを大切にした授業づくりに生かせる有用なものにしたい。

④ ローマ字指導(小学校)を中学校につなげる工夫

4つの小学校でそれぞれに取り組んでいるローマ字指導について、共通にできる実践方法を考え、中学校での文字指導や「書く」指導につながることを考えた。小学校では指導時間数が少なく、訓令式を指導の基本とすることから、へボン式の指導に変更することは難しいので、「6年生の卒業時までには、へボン式にも触れ、自分の名前をへボン式で書けるようにする」ことを共通目標とした。また、ローマ字の理解と定着を図るために継続して指導することが大切であることから、平成23年度から小学校3年生で指導する際に、ローマ字指導の教材「ローマ字ノート」をどの小学校でも使用し、それを中学校まで継続活用することにした。

2 取組の成果と課題

< 成 果 >

■教師の課題意識・連携意識の高まり

- ・協議の中で、中学生の学びの実態を小学校教師が聞くことで、小学校として指導しなければならないことがあるということを実感することができた。(例：中学校で、グループでの話し合いがなかなかうまくいかない実態など)
- ・6回にわたる公開授業（フランクな授業公開も含む）で、他校の児童、生徒の様子を知るだけでなく、共通の授業評価の観点で授業を見ることができたので、連携の意識が高まってきている。

■日々の授業改善への意識の高まり

- ・第1回アンケート結果から、学習課題を明確に提示することの必要性を感じ、課題提示を大切に授業に臨むようになってきた。
- ・授業づくりの視点「自分の考えをもち、伝える場の設定」を定めたことで、その視点をふまえて日々の授業の指導を工夫するようになった。一斉指導ばかりでなく、グループ活動やペア学習も進んで取り入れるようになってきた。

■外国語活動と外国語科の連携意識の高まり

- ・中学校で使うクラスルームイングリッシュを小学校でも使うようにすることで、中学校に進学して安心して授業を受けることができる体制づくりのきっかけをつくった。
- ・小学校外国語活動の教材・教具を活用した中学校での授業づくりを進めるようになった。(ピクチャーカード、英語ノートのデジタル教材（電子黒板）など)
- ・公開授業の実施により、小学校外国語活動でのコミュニケーション活動を中学校の外国語科授業にも取り入れ、コミュニケーション能力の育成を図る土台作りに努めている。
- ・年間指導計画の作成に着手し、カリキュラムの連携を図り始めた。

< 課 題 >

■教師の協働研究、協働実践の推進

- ・他部会の先生方に口頭や文書で報告しているのが実情で、授業づくりについて協議をする時間や場の確保が十分でなく、授業改善に対する意識に差が見られる。時間や場を確保し、授業研究（研究協議）の充実を図っていきたい。
- ・授業改善部会の提案した視点などが各校の校内研修と一体化しているとは言えない。今後は、各校の校内研修とリンクを図り、一体化して研究を深めたい。

■授業改善の推進

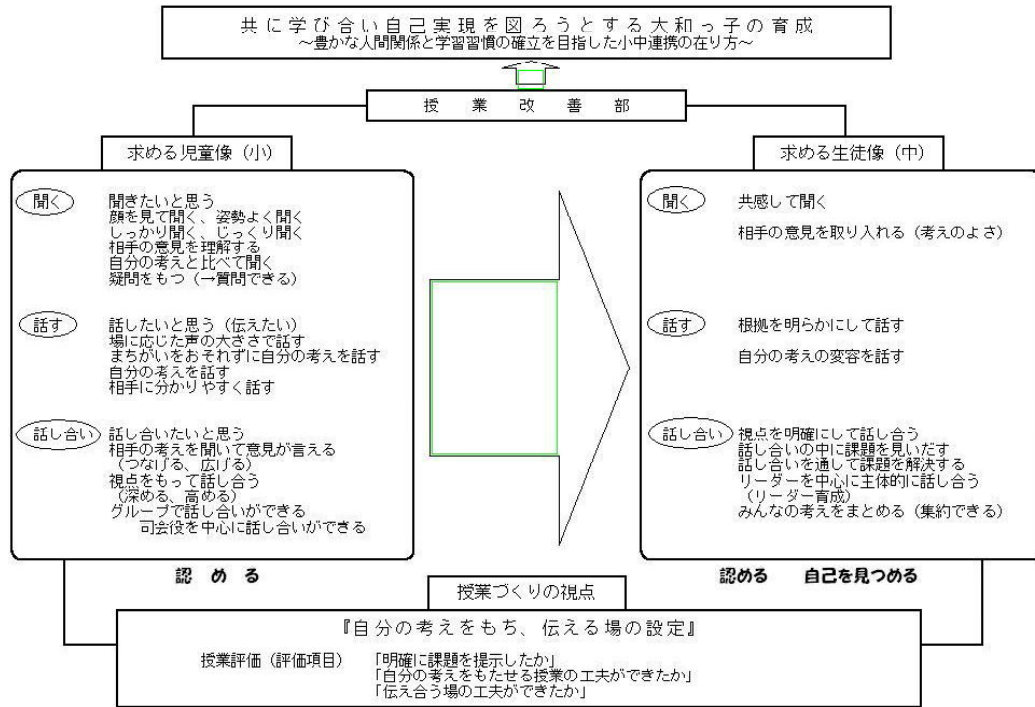
- ・授業改善に取り組んでいるが、「子どもの学びがかわった」「子どもが学びの向上を実感できる」といえるまでに至っていない。コミュニケーション能力の育成を中核に、焦点化した授業研究を行い、子どもの成長を実感できるよう工夫・改善を進めたい。
- ・小学校は、校内研修のテーマと合致する部分もあり、話し合う力を育てていこうとする研修体制で臨んでいるが、中学校では教科や学年により取り組み方に違いが見られる。授業の中での話し合い活動の場づくり（伝え合う場の工夫）が必要である。

■外国語活動と外国語科の指導観の共有とカリキュラムの連携

- ・実際の授業における具体的な指導の在り方について十分共有できていない。授業交流（授業参観、授業研究等）を通して協議を深め、指導観を共有したい。
- ・外国語活動と外国語科の関連を明記した小学校及び中学校の年間指導計画を整備し、つながりを大切に授業づくりができるように、カリキュラムの連携を工夫したい。
- ・小学校では、外国語活動においてALT主導から担任主導への転換と外国語科をふまえた取組を進めていきたい。
- ・中学校では、4領域のバランスを考えた上での、小学校の学習経験を生かしたコミュニケーション活動を大切にしていきたい。

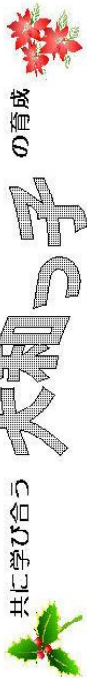
授業改善研究部

《参考資料1》



《参考資料2》

大和地蔵小・中学校連携だより H22.12.17



大和地蔵小・中学校5校では、「共に学び合い自己実現を図ろうとする大和っ子の育成」を目指して、連携した取組を進めています。よりよい生活学習習慣や学習習慣の定着を図るための協働実践や小中学生のふれあいの交流活動を展開するとともに、日々の授業を大切に、授業の仕切り方を見直し改善しようとして取り組んでいます。小学校でも中学校でも、生徒生活と学び合う児童生徒の姿が言われるように、「子どもが自分の考えをもち、それを伝え合う場を工夫した授業づくり」に努めています。

公開授業日を設定し、互いに授業を参観し、子どもの様子や教師の指導の仕切り方等について相互理解を図っています。また、子どもが自分の考えをもち、それを伝え合う場を工夫した授業になっていくかどうか授業評価を行ったり、授業研究会で改善方針について一緒に協議したりするなど、授業についての合同研修も実施しています。

公開授業、授業研究会

9月29日には、岩田小5年の区工の授業が公開され、参観後の授業研究会では、小中学校教員が台詞ワークシート形式の研究協議を行い、研修を深めました。



10月5日には、大和中1年の英語の授業や、塩田小5・6年の外国語活動の授業を小中学校の教員が参観しました。この日は、国立教育政策研究所から2名の教科調査官、県と市の教育委員会担当主事も参観され、午後から小中連携教育の研修会を行いました。

10月19日には三輪小学校4年の算数の授業、11月24日には東荷小1・2年複式学級の国語の授業が公開され、授業研究会を行いました。12月3日には岩田小6年の外国語活動の授業が公開されました。1月19日には大和中2年の特別活動の授業が公開される予定です。今後も授業交流を進めていきます。

授業に関するアンケート

7月と11月のアンケート結果を比較すると、「学習の目当てが分かっている」「他の生徒の話や書局をよく聞いている」「他の生徒とよく話し合っている」「外国語活動・英語の授業が好き」「外国語活動・英語の授業は分かりやすい」「先生や生徒と英語で会話するのは好き」「英文を眺むことが好き」「英文を書くことが好き」「外国の文化を勉強するのは好き」の項目については、肯定的に回答している児童生徒の割合が増加傾向にあります。しかし、発表することや、他の人に誇示したり、文に書いたことについては意識の改善があまり見られないなどの課題もあります。これらの結果を今後の授業改善に生かしていきます。

これからも、5校が連携し、研修を重ね、よりよい授業を工夫し、子どもたちの力を伸ばし、育てていきたいと思っております。ご意見やご感想などがございましたら、各学校までお知らせください。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

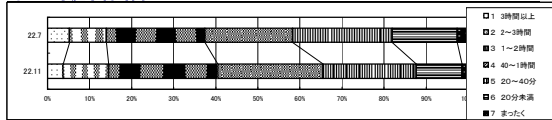
Ⅲ 参 考 資 料

1 年次児童・生徒へのアンケート

の集計結果と考察

一年次児童生徒実態把握アンケート結果 (第1回H22.7、第2回H22.11)

Q1. 平日の家庭学習時間

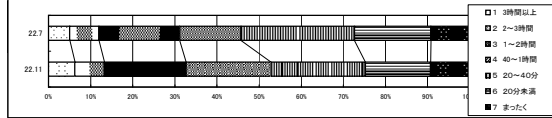


「家庭学習の手引き」の作成により、わずかながら家庭学習時間の伸びが見られる。

1 学校の授業時間以外に、ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか。(学習塾等で勉強している時間も入れます。)

- ① まったくしない
- ② 20分より少ない
- ③ 20分以上、40分より少ない
- ④ 40分以上、1時間より少ない
- ⑤ 1時間以上、2時間より少ない
- ⑥ 2時間以上、3時間より少ない
- ⑦ 3時間以上

Q2. 休日の家庭学習時間

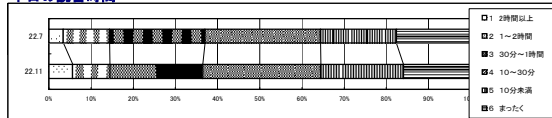


休日にも学習する児童の伸びが見られる。

2 土曜日や日曜日など学校の休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか。(学習塾等で勉強している時間も入れます。)

- ① まったくしない
- ② 20分より少ない
- ③ 20分以上、40分より少ない
- ④ 40分以上、1時間より少ない
- ⑤ 1時間以上、2時間より少ない
- ⑥ 2時間以上、3時間より少ない
- ⑦ 3時間以上

Q3. 平日の読書時間

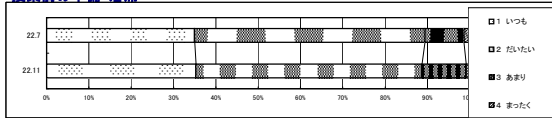


大きな変化はなく、読書時間の確保が課題。

3 学校や家などで、学校の授業時間以外に、ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか。(教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。)

- ① まったくしない
- ② 10分より少ない
- ③ 10分以上、30分より少ない
- ④ 30分以上、1時間より少ない
- ⑤ 1時間以上、2時間より少ない
- ⑥ 2時間以上

Q4. 授業前の準備・着席

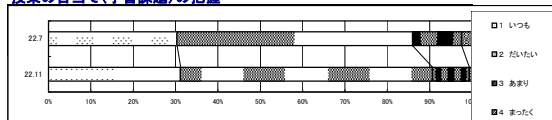


100%に向けて定着を図る必要がある。

4 授業が始まる前に学習の準備をして、授業の始まりとともに席に着いていますか。

- ① いつもしている
- ② だいたいしている
- ③ あまりしていない
- ④ まったくしていない

Q5. 授業の目当て(学習課題)の把握

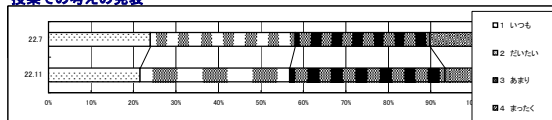


改善傾向にあるが、教師の側からの確実に把握させる手立てが必要。

5 授業のときに、その時間の学習のめあて(学習課題など)がわかっていますか。

- ① いつもわかっている
- ② だいたいわかっている
- ③ あまりわかっていない
- ④ まったくわかっていない

Q6. 授業での考えの発表

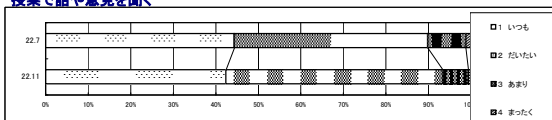


改善に向けて授業改善が必要。

6 普段の授業では、自分の考えをよく発表していますか。

- ① いつもしている
- ② だいたいしている
- ③ あまりしていない
- ④ まったくしていない

Q7. 授業で話や意見を聞く

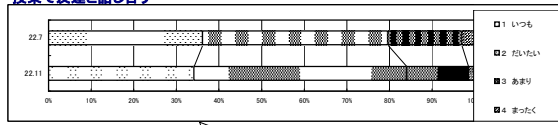


聞くことについては概ねできているが、「きく」レベルの差は大きいと思われる。

7 普段の授業では、ほかの生徒の話や意見をよく聞いていますか。

- ① いつもしている
- ② だいたいしている
- ③ あまりしていない
- ④ まったくしていない

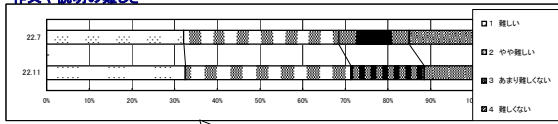
Q8. 授業で友達と話し合う



改善傾向にあるが、さらなる授業改善が必要。

8 普段の授業では、ほかの生徒とよく話し合っていますか。
 ① いつもしている
 ② だいたいしている
 ③ あまりしていない
 ④ まったくしていない

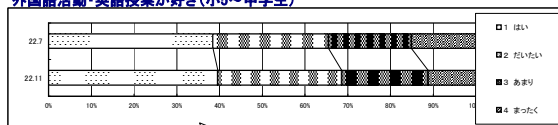
Q9. 作文や説明の難しさ



改善に向けた授業改善を進める必要がある。

9 学校の授業などで、自分の考えをほかの人に説明したり、文章に書いたりするのは難しいですか。
 ① 難しいと思う
 ② どちらかといえば、難しいと思う。
 ③ どちらかといえば、難しいと思わない。
 ④ 難しいと思わない。

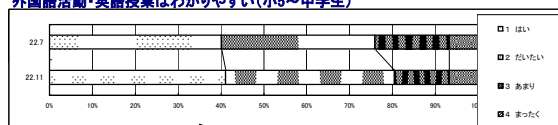
Q10. 外国語活動・英語授業が好き(小5～中学生)



特に中学校英語科で改善に向けた授業改善を進める必要がある。

10 外国語活動(英語)の授業は好きですか。
 ① 好き
 ② どちらかというが好き
 ③ あまり好きではない
 ④ 好きではない

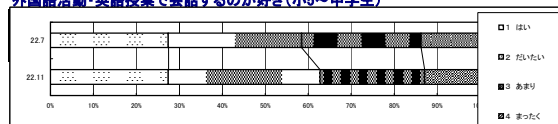
Q11. 外国語活動・英語授業はわかりやすい(小5～中学生)



苦手意識をもつ者の固定化が見られる。個別指導などの工夫も必要。

11 外国語活動(英語)の授業は分かりやすいですか。
 ① わかりやすい
 ② どちらかというとわかりやすい
 ③ あまりわかりやすい
 ④ わかりやすい

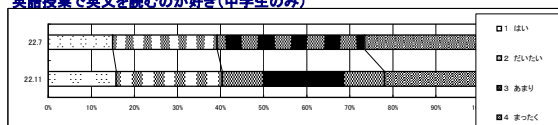
Q12. 外国語活動・英語授業で会話するのが好き(小5～中学生)



改善傾向にあるが、さらなる授業改善が必要。

12 外国語活動(英語)の授業で、先生や生徒と英語で会話するのは好きですか。
 ① 好き
 ② どちらかというが好き
 ③ あまり好きではない
 ④ 好きではない

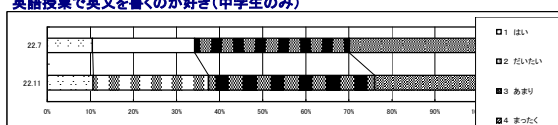
Q13. 英語授業で英文を読むのが好き(中学生のみ)



半数以上に苦手意識があり、授業改善が必要。

13 英語の授業で、英文を読むことは好きですか。
 ① 好き
 ② どちらかというが好き
 ③ あまり好きではない
 ④ 好きではない

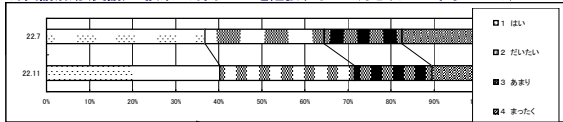
Q14. 英語授業で英文を書くのが好き(中学生のみ)



「話す」→「読む」→「書く」順に苦手な者が多く見られ、「文字」学習への手立てが必要。

14 英語の授業で、英文を書くことは好きですか。
 ① 好き
 ② どちらかというが好き
 ③ あまり好きではない
 ④ 好きではない

Q15. 外国語活動(英語)の授業で外国のことを勉強するのが好き(小5~中学生のみ)

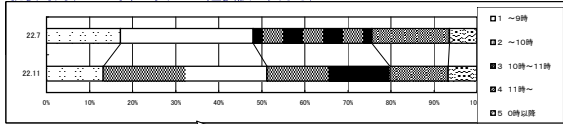


改善傾向にあるが、さらなる授業改善が必要。

15 外国語活動(英語)の授業で、外国の文化を勉強するのは好きですか。

- ① 好き
- ② どちらかというと好き
- ③ あまり好きではない
- ④ 好きではない

Q16. 就寝時刻(1~4年、5年以上で選択肢が異なる)

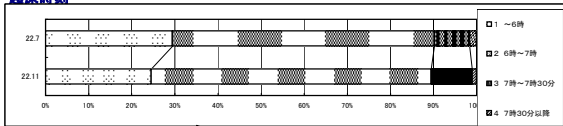


就寝時刻の遅い者の生活改善が必要。

16 昨日の夜、何時に寝ましたか。

- ① 午後9時より前
- ② 午後10時より前
- ③ 午後10時以降、午後11時より前
- ④ 午後11時以降、午前0時より前
- ⑤ 午前0時以降

Q17. 起床時刻

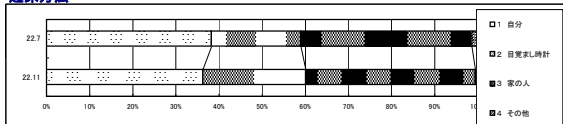


概ね7時までに起床できている。

17 今朝、何時に起きましたか。

- ① 午前6時より前
- ② 午前6時以降、午前7時より前
- ③ 午前7時以降、午前7時30分より前
- ④ 午前7時30分以降

Q18. 起床方法

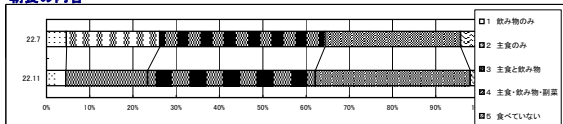


学年に応じて自分で起床できる習慣を育てていく必要がある。

18 どのようにして起きましたか。

- ① 自分で
- ② 目覚まし時計などで
- ③ 家の人に起こされて
- ④ その他()

Q19. 朝食の内容

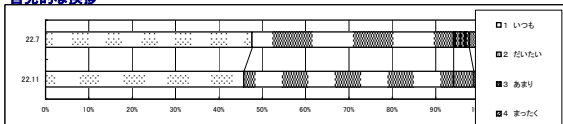


学年に応じて自分で起床できる習慣を育てていく必要がある。

19 今朝、朝ごはんは、どんなものを食べましたか。

- ① 飲み物(汁やスープなどもふくむ)のみ
- ② 主食(ごはんやパンなど)のみ
- ③ 主食(ごはんやパンなど)と飲み物
- ④ 主食(ごはんやパンなど)と飲み物 と 副菜(おかず)
- ⑤ 何も食べていない

Q20. 自発的な挨拶

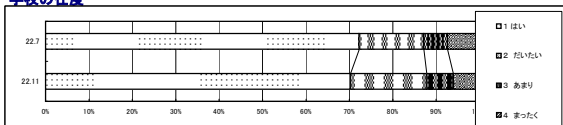


概ねできているが、まだまだ改善に向けて指導していく必要がある。

20 自分から、「おはよう」「さようなら」「ありがとう」「ごめんなさい」などのあいさつをしていますか。

- ① いつもしている
- ② だいたいしている
- ③ ほとんどしていない
- ④ まったくしていない

Q21. 学校の仕度

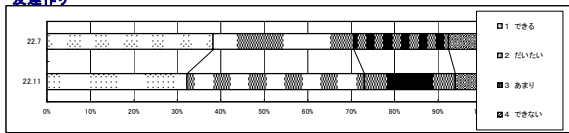


概ねできているが、まだ忘れ物があるという現状から、改善に向けて指導していく必要がある。

21 昨日ねるまでに、今日の学校の準備ができていましたか。

- ① できていた
- ② だいたいできていた
- ③ ほとんどできていなかった
- ④ まったくできていなかった

Q22. 友達作り

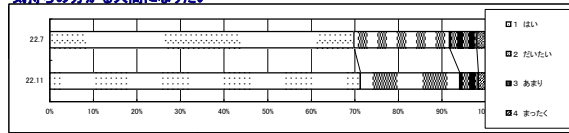


人間関係づくりに対する苦手意識が「交流学習」後では少し減ってきている。

22 初めて出会った人とでも、すぐに友だちになることができますか。

- ① できる
- ② どちらかというところ
- ③ あまりできない
- ④ できない

Q23. 気持ちの分かる人間になりたい

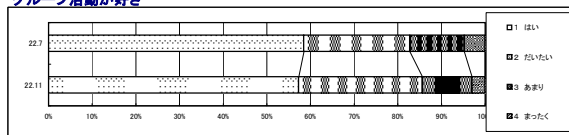


「交流学習」後では少し意識の変化が見られる。

23 人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか。

- ① 思う
- ② どちらかというと思う
- ③ あまり思わない
- ④ 思わない

Q24. グループ活動が好き

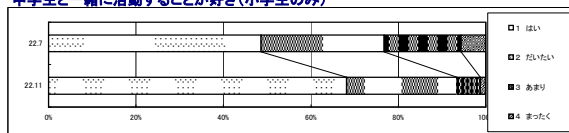


「交流学習」後では少し意識の変化が見られる。

24 グループをつかって、友だちと活動することは、好きですか。

- ① 好き
- ② どちらかというところ
- ③ あまり好きではない
- ④ 好きではない

Q25. 中学生と一緒に活動することが好き(小学生のみ)

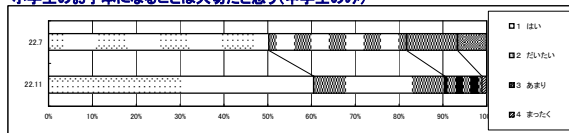


「交流学習」後に大きく意識の変化が見られる。

25 中学生と一緒に活動することは好きですか。

- ① 好き
- ② どちらかというところ
- ③ あまり好きではない
- ④ 好きではない

Q26. 小学生のお手本になることは大切だと思う(中学生のみ)

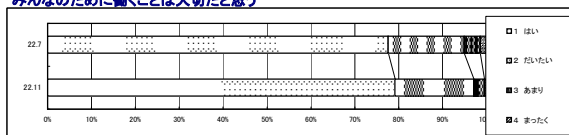


「交流学習」後に大きく意識の変化が見られる。

26 小学生のお手本になることは、大切だと思いますか。

- ① 思う
- ② どちらかというところ
- ③ あまり思わない
- ④ 思わない

Q27. みんなのために働くことは大切だと思う



「交流学習」後では少し意識の変化が見られる。

27 みんなのために働くことは、大切だと思いますか。

- ① 思う
- ② どちらかというところ
- ③ あまり思わない
- ④ 思わない

Ⅲ 参 考 資 料

小・中連携だより

共に学び合う **大和っ子** の育成



豊かな自然に囲まれて、伸び伸びと素直に育っている大和地域の小・中学生たち。よく遊び、よく学び、運動面や文化面でも、素晴らしい成果を上げています。

この良さを生かしながら、さらにお互いに尊重し合い、豊かな人間関係のもとで、自ら主体的に学ぶ姿勢を身につけてくれることを願って、今年度から、大和地域の小・中学校5校で連携教育を実施することとなりました。

下の4つの柱を中心に、小学生と中学生が仲良く交流したり、9年間の学びがつながるように授業や家庭学習を改善したりと、保護者・地域の皆様のご理解とご協力をお願いしながら様々な取り組みを行ってまいります。

この連携だよりや各学校だよりなどを通して、取り組みの紹介、各ご家庭や地域の方へのお願いなどをお伝えします。実りの多い小・中学校連携教育になるよう、ご意見やご感想などがございましたら、各学校までお知らせください。よろしくお願いいたします。

☆ 家庭学習や授業に臨む姿勢など、学習に取り組む上での良い習慣を育てていきます



☆ コミュニケーションの力を育て、思いやりの心が身につくような、交流活動を実施します



小・中学校連携4つの柱

☆ 学年に合った自立ができ、元気に学校生活を送れるよう、生活習慣を見直します



☆ 自分の考えをもち、それを伝え合うなど、お互いに学び合い、高め合うことができる授業へと改善していきます



共に学び合う

大和っ子

の育成



9月半ばに入り、日中はまだ夏のような日差しが続いていますが、朝晩は秋らしくいくぶん涼しくなってきました。中学校は体育祭が終わり、塩田・東荷小学校は今週末、運動会が行われる予定です。これから、秋の深まりとともに、「スポーツの秋」「読書の秋」「芸術の秋」と、実りがいっぱいの秋になるよう、取り組んでいきたいものです。

さて、今回の連携だよりでは、4つの柱の一つ、生活習慣研究部会の取組みについて、ご紹介します。

生活習慣研究部会のめざす児童・生徒像

元気に学校生活を送る子ども（自立）

「自分で考えながら、心も体も元気に学校生活を送る」

自立のためのステップ1

身構え **自分で決めた時刻に自分で起きる**

- ・元気な1日のスタートは、気持ちの良い朝の目覚めです。
- ・毎朝決まった時刻に自分で起きることによって規則正しい生活のリズムができます。



自立のためのステップ2

物構え **忘れ物をしない**

- ・学習に集中して取り組むための第1歩は、学習の準備がきちんと整っていることです。そのために、忘れ物をしないことが大切です。



自立のためのステップ3

心構え **心のこもったあいさつをする**

- ・コミュニケーションをとる一番のよい方法は、あいさつです。いつでも、どこでも、だれとでも、あいさつをすることで、気持ちがかよいあいます。



☆各校で工夫しながら取り組んでいます。ご家庭・地域の皆様にもご理解ご協力をお願いします。

キャンペーンのお知らせ

親子で朝食を作って食べよう

第1回目 9月19日(日)

(毎月第3日曜日家庭の日 大和地域で実施)

※ 運動会実施の塩田小・東荷小校区は、翌日でも

共に学び合う

大和っ子

の育成



10月 実りの秋



読書の秋、芸術の秋、勉学の秋…と、秋はいろいろな形容されますが、それだけ勉強や運動をするのに好季節だと言えます。先日、各小中学校で配布しました「家庭学習の手引き」（中学校は「学習の手引き」）をご覧くださいましたか？

家庭学習の手引きとは？

小中連携での取組の1つは、「家庭学習の手引き」の実施です。

これまで各小中学校でバラバラに取り組んでいたものを、小中学校の教員で話し合い、規準を決めて9月から取組を始めました。

来年から文部科学省が示す新学習指導要領が実施されます。教科書の内容も3割ほど増えますが、背景には学力の向上という国の方針によるところがあります。もっと身近に言えば、小中学校を卒業するまでには、これだけは習得しておきたいこと、「基礎・基本」を身に付けさせたいという願いがあります。

この度、小中学校で教員がお互いに授業を見せ合い、改善を図ろうとする取組もありますが、基礎・基本を身に付けるためには、家庭でも「読み、書き、計算」の学習などきちんとしてほしい、かつ、自主勉強や読書にも取り組んでほしいと考えています。

そのためには、まず机について学習をする習慣をつけることが大切です。何も学習机に限ったことでなく、ダイニングテーブルでもかまいません。ただ、テレビやゲームの電源は切って、決まった時間を集中してがんばってほしいです。



家庭学習時間の目安は？

手引きに示してある学習時間の目安は、

小学校低学年で20分、中学年で40分、高学年で60分、
中学校1学年で60分、2・3学年で90分です。

学習のきまりとは？

小中連携でのもう1つの取組は、学習のきまりの徹底です。

このきまりを守ることによって、自分やまわりの人が授業に集中することが容易になると考え、全ての学校で取り組んでいます。



- ① 授業が終わったら、次の授業の準備をして休憩に入る。
- ② 早めに着席し、授業の心構えをつくる。
- ③ 先生の話や友達の発表を最後まで黙って聞く。
- ④ 自分の意見をはっきりと聞こえる声で話す。
- ⑤ 学習したことをノートに丁寧に書く。
- ⑥ 背筋を伸ばした姿勢ですわる。

保護者の皆様からは、「うちの子にはもっと発展的なことを…」とか「うちの子にはちょっと無理がある」といった声も聞かれそうですが、各学校では、学習・生活の両面で個々の子どもに応じた指導を行っていますので、学校（学級担任ほか）と連携しながら、**共に学び合う「大和っ子の育成」**のため、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

共に学び合う

の育成

大和っ子



11月16日(火)午後、大和中学校の1、2年生と大和地域の小学生とで「ふれあい交流活動」をしました。各小学校の希望する活動に対して、中学生が小学校に行き、いろいろなことを教えてくれました。小学生も中学生もとてもいい顔をして、活動していました。互いに有意義な交流ができたと思います。子どもたちの感想の一部をお知らせします。

<小中ふれあい交流活動の内容>

学校名	学年	活動名
塩田小学校	全校	レクレーション
三輪小学校	1・2年	パソコン操作
	3年	楽器演奏
	4年	ソフトバレー
	5年	ミシン操作
	6年	中学校生活の話
	岩田小学校	1年
岩田小学校	2年	かけざん
	3年	楽器演奏
	4年	読み聞かせ
	5年	ポードボール
	おおぞら	読み聞かせ・ゲーム
	6年1組	楽器演奏
	6年2組	ホームステイの話・英語ゲーム
東荷小学校	全校	レクレーション
	3・4年	かくれんぼとドッジボール
	5・6年	バスケットボール
	5・6年	卓球



大和中学校生徒の感想

<塩田小学校 レクレーション>

○ この交流会でたくさんのことを学ぶことができました。最初は、不安と緊張がすごかったけれど塩田小の子どもが明るいあいさつをしてくれたので、うれしかったし、がんばろうという気持ちがより強くなりました。ゲーム説明では、実際にやることで小学生に分かりやすかったと思います。名刺じゃんけんでは、ただ渡すだけでなく、一言話すことができました。どの子も笑顔で夢中になって遊んでいました。私は、総合司会をしたので、直接小学生とふれ合うことはなかったけれど、どうやったら楽しくすすめられるか、友達と話し合いながら進行しました。見ているだけでも楽しかったです。最終的に目標が達成できたと思います。90%くらいは達成できたと思います。みんなと協力して、自分の仕事を臨機応変に考え、何より楽しく交流できよかったです。

<三輪小学校3年 楽器演奏>

○ 今回の交流では、自分の楽器を小学生に紹介したり、いろいろな質問を受けたりしました。小学生に質問されたなかで、私も分からないところがあり、私自身も学ぶところがありました。小学生とエーテルワイスを吹いたり、私たちの曲を聞いてもらったりしました。私たちが曲をふいているとき、小学生たちがいっしょうけんめい聞いてくれて、すごくうれしかったです。曲が終わって「きれいでした」と感想を言ってくれて、「ありがとう」という気持ちでいっぱいでした。小学生にリコーダーを教える時間がきて、分からないところがあるか一人ずつ聞きに回り、分からないところを教えました。少し教えるだけで、みんな覚えが早く、すぐにふけるようになりました。また、このような交流をしたいです。

<岩田小学校1年 パソコン操作>

○ 前にした職場体験では、自分が通っていた小学校だったので、知っている人ばかりでとてもやりやすかったけれど、今度は違う小学校なので、すごく緊張しました。岩田小学校に着いておどろいたのはとても校舎が大きく、また、人数もとても多かったことです。そして、いよいよ1年生にパソコンを教えるときがやってきました。ローマ字も知らない1年生にパソコンを教えるのは、すごく難しかったけれど、みんなお利口のできたので、すごく楽しかったです。また、この小中ふれあい交流活動で自分の新しい一面を知ることができました。私は、将来、小さな子どもたちを相手にする仕事がしたいと思えるようになりました。とても充実した時間でした。

<東荷小学校 レクレーションとバスケ・卓球>

○ 最初は、小学生と遊ぶということゲームの内容を説明しなければならなかったもので、すごく緊張しました。しかし、小学生と遊ぶ内に緊張がとけて、時間がたつのが本当に早いなあと思いました。小学生たちも私が東荷小学校の卒業生でも、知り合いでもないのに積極的に話しかけてくれたのですごくうれしかったです。また、目標の「仲よく楽しく有意義」というのも達成できたのでよかったです。今回、このような交流会があってまた他の小学校に行ってみたいと思いました。今回、私は、レクレーションだったけれど、次は英語ゲームをしたり、ミシンを教えたりするのもいいなあと思いました。3・4年生以外の子とはあまり遊べなかったもので、もう少し時間があつたらよかったな、と思いました。けれど、本当に楽しかったのでよかったです。

塩田小学校児童の感想

<レクリエーション>

○ 名刺もたくさんもらって、いろんな人の名前が分かったのでよかったです。たくさんゲームをして説明もとても上手で分かりやすかったです。特に最後の王様じゃんけんは、王様まではいかなかったけど、中学生とじゃんけんがたくさんできてよかったです。中学生は、司会も上手だし、男女関係なくみんなが仲がいいので、来年は今の中学生み立派になりたいです。(6年男子)



○ ぼくはこの交流をしてよかったと思います。中学生の協力しているのを見るとすごいなと思いました。ぼくもそれを見習いたいと思います。ありがとうございました。またふれあい交流活動をしたいです。(3年男子)

○ いろんな遊びができて楽しかったです。一番楽しかったのは、王様じゃんけんです。わけはいろんな人とじゃんけんしていろんな人となかよくなれたからです。名しは10まいもらいました。さいしょはちょっとはずかしかったけど、だんだんたのしくなっている人となかよくなれたのでうれしかったです。(2年男子)

○ またちゅうがくせいとあそんでいっぱいともだちになりたいとおもっています。(1年女子)



三輪小学校児童の感想

<パソコン 1・2年>

○ 中学生がやさしくおしえてくれたのがよかったから、大きくなってもおほえておきたいです。またこんど、つくえでおべんきょうするとき、うしろでみてもらいたいです。きのうのパソコンは、あんまりできななかったけど、ながいじかん中学生とやりたいです。(1年女子)

○ 中学生がとてもやさしかったです。わたしもあんな中がくせいになりたいです。2年生ともなかよくなれました。中学生は、わたしの名まえをおほえてくれました。とてもうれしいです。これからもっと、ともだちをつくりたいです。(1年女子)

○ ぼくは、1年生のころにいた6年生といっしょにパソコンをしてみました。まちがえたとき、中学生がはじめからやってくれました。よく話せたので、楽しかったです。またいっしょに、中学生とパソコンをしてみたいなと思いました。(2年男子)



○ わたしがこまっていたことに、中学生がいていないにこたえてくれたのでよかったです。これからも教えてもらったようにやりたいです。もっと、パソコンの勉強をして、ほかのつかい方を知りたいです。中学生ととてもいい思い出になりました。先生の言うことも聞いて、一生けんめいがんばりたいです。(2年女子)

○ わたしがこまっていたことに、中学生がいていないにこたえてくれたのでよかったです。これからも教えてもらったようにやりたいです。もっと、パソコンの勉強をして、ほかのつかい方を知りたいです。中学生ととてもいい思い出になりました。先生の言うことも聞いて、一生けんめいがんばりたいです。(2年女子)

○ わたしがこまっていたことに、中学生がいていないにこたえてくれたのでよかったです。これからも教えてもらったようにやりたいです。もっと、パソコンの勉強をして、ほかのつかい方を知りたいです。中学生ととてもいい思い出になりました。先生の言うことも聞いて、一生けんめいがんばりたいです。(2年女子)

○ わたしがこまっていたことに、中学生がいていないにこたえてくれたのでよかったです。これからも教えてもらったようにやりたいです。もっと、パソコンの勉強をして、ほかのつかい方を知りたいです。中学生ととてもいい思い出になりました。先生の言うことも聞いて、一生けんめいがんばりたいです。(2年女子)

○ わたしがこまっていたことに、中学生がいていないにこたえてくれたのでよかったです。これからも教えてもらったようにやりたいです。もっと、パソコンの勉強をして、ほかのつかい方を知りたいです。中学生ととてもいい思い出になりました。先生の言うことも聞いて、一生けんめいがんばりたいです。(2年女子)

○ わたしがこまっていたことに、中学生がいていないにこたえてくれたのでよかったです。これからも教えてもらったようにやりたいです。もっと、パソコンの勉強をして、ほかのつかい方を知りたいです。中学生ととてもいい思い出になりました。先生の言うことも聞いて、一生けんめいがんばりたいです。(2年女子)

○ わたしがこまっていたことに、中学生がいていないにこたえてくれたのでよかったです。これからも教えてもらったようにやりたいです。もっと、パソコンの勉強をして、ほかのつかい方を知りたいです。中学生ととてもいい思い出になりました。先生の言うことも聞いて、一生けんめいがんばりたいです。(2年女子)

○ わたしがこまっていたことに、中学生がいていないにこたえてくれたのでよかったです。これからも教えてもらったようにやりたいです。もっと、パソコンの勉強をして、ほかのつかい方を知りたいです。中学生ととてもいい思い出になりました。先生の言うことも聞いて、一生けんめいがんばりたいです。(2年女子)

○ わたしがこまっていたことに、中学生がいていないにこたえてくれたのでよかったです。これからも教えてもらったようにやりたいです。もっと、パソコンの勉強をして、ほかのつかい方を知りたいです。中学生ととてもいい思い出になりました。先生の言うことも聞いて、一生けんめいがんばりたいです。(2年女子)

岩田小学校児童の感想

<管弦楽 6-1>

○ 今までふいたことのない楽器ばかりでどんな音になるのか楽しみでふかせてもらおうと、トランペットやチューバ、スネア、クラリネットそれぞれの音がとてもきれいな音で、おもしろかったです。特にトランペットは、初めてふいてふけたので夢中になりました。そして、中学生たちが始めと終わりにやった曲もすこくて少し楽器にきょうみがわいてきたので、中学校に行ったら吹奏楽部に入ろうか今やんでいます。(6年男子)

○ はじめは、すごくはずかしかったけど、中学生が楽器をふいたりたたいたりして心をほぐしてくれたので楽器をえんそうするときに楽しくできました。演奏を聞いて思ったことはすごく上手で音が大きく出ていてまちがえても止まらず演奏してすごいなと思いました。楽器を使っても「こうしたらいいんだよ」とやさしく教えてくれて、前から吹奏楽部に入ろうと思っていただけ、絶対に入ろうと思いました。すごく楽しかったです。(6年女子)



<読み聞かせ 4年>

○ 中学生の3人の名前をおほえることができました。本を読んでいるとき、とてもじょうずに読んでいました。とても楽しかったです。(4年男子)

○ 中学生とたくさん話ができて、うれしかったし、楽しかったです。中学生の読み方はとてもじょうずでした。しつもんもすごく楽しく、いろいろな部活があるのでびっくりしました。また、中学生に会いたいです。(4年女子)



○ 中学生とたくさん話ができて、うれしかったし、楽しかったです。中学生の読み方はとてもじょうずでした。しつもんもすごく楽しく、いろいろな部活があるのでびっくりしました。また、中学生に会いたいです。(4年女子)

○ 中学生とたくさん話ができて、うれしかったし、楽しかったです。中学生の読み方はとてもじょうずでした。しつもんもすごく楽しく、いろいろな部活があるのでびっくりしました。また、中学生に会いたいです。(4年女子)

束荷小学校児童の感想

<レクリエーションとドッジボール>

○ 最初に3人の人と自己しょうかいをして、その後、1・2・3年生と4・5・6年生に分かれて、『大なわとび』をしました。その次に、全員で『だるまさんが転んだ!』をしました。1回つかまったけど、楽しかったです。一番心に残ったのは、ドッジボールです。なぜかという、中学生とのドッジボールは、あんまりやらないからです。



ドッジボールをして、中学生の投げボールは、すごく速くてびっくりしました。とても楽しかったので、すごくよい思い出になりました。

(4年男子)

<レクリエーションとバスケ・卓球>

○ 最初は、中学生とちゃんと話すことができるか不安だったけど、話すことができた人と『じゃんけん列車』の時も一緒にしました。『だるまさんが転んだ!』は、みんなすごい進んでいて、「勇気あるな!」と思いました。



バスケの時も、中学生の男子とはなすことができたのでうれしかったです。中学校に入るのが、とても楽しみです。

(6年女子)

○ 卓球のとき、ラケットでの打ち方を教えてもらったなら、相手のうちにくいところに打てるようになったのでうれしかったです。またやることがあったら、おしえてもらった打ち方で、がんばってみたいです。(5年男子)

○ 卓球のとき、ラケットでの打ち方を教えてもらったなら、相手のうちにくいところに打てるようになったのでうれしかったです。またやることがあったら、おしえてもらった打ち方で、がんばってみたいです。(5年男子)

○ 卓球のとき、ラケットでの打ち方を教えてもらったなら、相手のうちにくいところに打てるようになったのでうれしかったです。またやることがあったら、おしえてもらった打ち方で、がんばってみたいです。(5年男子)



共に学び合う

大和っ子

の育成



大和地域の小・中学校5校では、「共に学び合い自己実現を図ろうとする大和っ子の育成」を目指して、連携した取組を進めています。よりよい生活習慣や学習習慣の定着を図るための協働実践や小中学生のふれあい交流活動を展開するとともに、日々の授業を大切に、授業の在り方を見直し改善しようと取り組んでいます。小学校でも中学校でも、生き生きと学び合う児童生徒の姿が見られるように、『子どもが自分の考えをもち、それを伝え合う場を工夫した授業づくり』に努めています。

公開授業日を設定し、互いに授業を参観し、子どもの様子や教師の指導の在り方等について相互理解を図っています。また、子どもが自分の考えをもち、それを伝え合う場を工夫した授業になっているかどうか授業評価を行ったり、授業研究会で改善方策について一緒に協議したりするなど、授業についての合同研修も実施しています。

公開授業、授業研究会

9月29日には、岩田小5年の図工の授業が公開され、参観後の授業研究会では、小中学校教員が合同でワークショップ形式の研究協議を行い、研修を深めました。



塩田小公開授業



岩田小授業研究会

10月5日には、大和中1年の英語の授業や、塩田小5・6年の外国語活動の授業を小中学校の教員が参観しました。この日は、国立教育政策研究所から2名の教科調査官、県と市の教育委員会の指導主事も参観され、午後から小中連携教育の研修会を行いました。

10月19日には三輪小学校4年の算数の授業、11月24日には東荷小1・2年複式学級の国語の授業が公開され、授業研究会を行いました。12月3日には岩田小6年の外国語活動の授業が公開されました。1月19日には大和中2年の特別活動の授業が公開される予定です。今後も授業交流を進めていきます。

授業に関するアンケート

7月と11月のアンケート結果を比較すると、「学習の目当てが分かっている」「他の生徒の話や意見をよく聞いている」「他の生徒とよく話し合っている」「外国語活動・英語の授業が好き」「外国語活動・英語の授業は分かりやすい」「先生や生徒と英語で会話するのは好き」「英文を読むことが好き」「英文を書くことが好き」「外国の文化を勉強するのは好き」の項目については、肯定的に回答している児童生徒の割合が増加傾向にあります。しかし、発表することや、他の人に説明したり、文に書いたりすることについては意識の改善があまり見られないなどの課題もあります。これらの結果を今後の授業改善に生かしていきます。

これからも、5校が連携し、研修を重ね、よりよい授業を工夫し、子どもたちの力を伸ばし、育てていきたいと思えます。ご意見やご感想などがございましたら、各学校までお知らせください。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

共に学び合う 大和っ子の育成



昨年度から大和地域の小・中学校5校で取り組んでいる連携教育ですが、いよいよ取組みの2年目を迎えました。

昨年1年間の成果と課題をもとに、今年度は下の3つの柱を中心に、より積極的に取り組んでまいります。

今年度も、連携だよりや各学校だよりなどを通して、取組みの紹介、各ご家庭や地域の方へのお願いなどをお伝えします。実りの多い小・中学校連携教育になるよう、ご意見や感想などを各学校までお知らせください。

よろしくお願ひいたします。

平成23年度の小学校・中学校連携教育の柱



★授業を改善することで聞き合い学び合う力を伸ばし、相手の気持ちや考えを尊重して、主体的に学習に取り組める大和っ子を育てます



★小学校の外国語活動と中学校の英語科の連携を大切にし、積極的にコミュニケーションがとれる大和っ子を育てます



★小学校と中学校、小学校同士など、様々な交流学习を実施し、自信や憧れ、思いやりなど豊かな心をもった大和っ子を育てます

お知らせとお願い

◎昨年度の取組みで始めた「学習のきまり」と「家庭学習の手引き」は今年度もすべての小・中学校で続けています。規則正しい生活や家庭学習の習慣づくりなど、各ご家庭でもご指導をお願いします。(裏面)



◎11月24日(木)には、県内外から多くの先生方をお迎えして、大和地域の連携教育発表会を行います。保護者の方々や地域の皆様もどうぞ授業参観にお越しください。(会場は岩田小と大和中の予定です。授業公開する教科など、くわしい内容は夏休み明けにご案内します。)

学習発表会

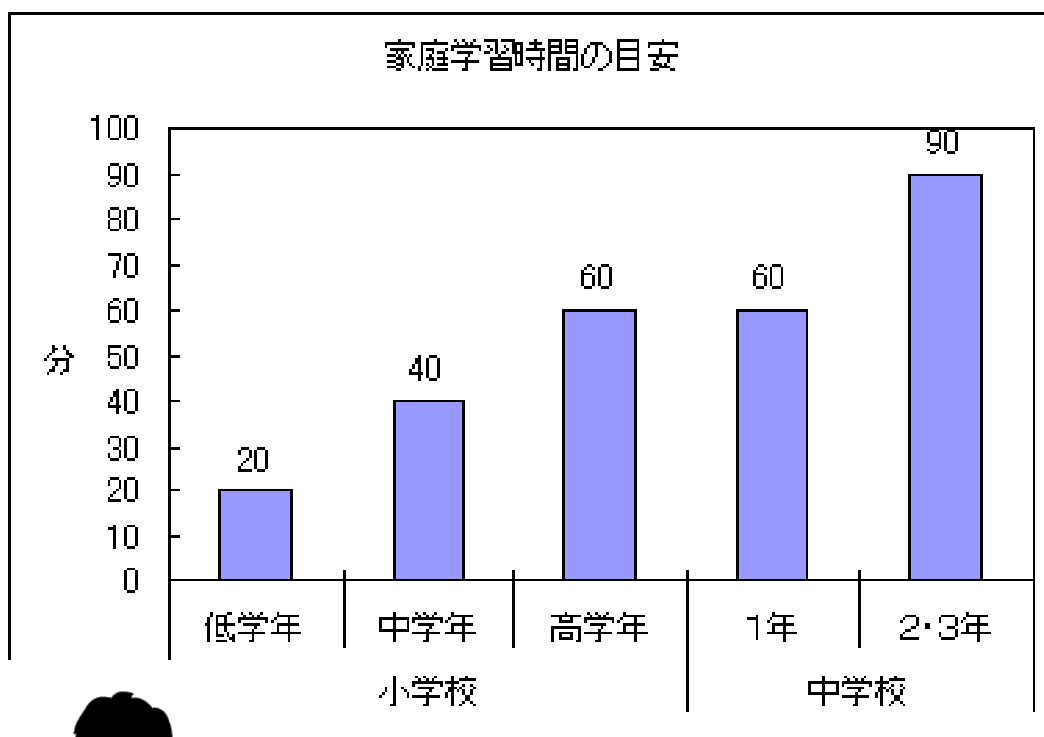
【参考】

○「学習のきまり」

- ① 授業が終わったら、次の授業の準備をして休憩に入る。
- ② 早めに着席し、授業の心構えをつくる。
- ③ 先生の話や友達の発表を最後まで黙って聞く。
- ④ 自分の意見をはっきりと聞こえる声で話す。
- ⑤ 学習したことをノートに丁寧に書く。
- ⑥ 背筋を伸ばした姿勢ですわる。



○「家庭学習の手引き」より 家庭学習時間の目安



共に学び合う大和っ子の育成



9月半ばに入り、日中はまだ真夏のような日差しが続いていますが、朝晩は秋らしくいくぶん涼しくなってきました。中学校は運動会が終わり、塩田・東荷小学校は今週末、運動会が行われる予定です。これから、秋の深まりとともに、「スポーツの秋」「読書の秋」「芸術の秋」と、実りいっぱいの秋になるよう取り組んでいきたいものです。

さて、今回の連携だよりでは、授業改善研究部会の取組について、ご紹介します。

授業改善研究部会では、今年度新たに「きき合い学び合う力を育む」授業づくりを目指し、実践を始めました。まず、小・中学校が共通して児童・生徒に身に付けたい力をコミュニケーション能力を育む上で一番大切な「きく力」としました。「きく」には、「聞く」（耳できく）「聴く」（心を傾けてきく）「訊く」（たずねる）があり、広い意味での「きく力」と考えました。授業の中で、児童対教師、児童対児童など、「きき合い学び合う」場面を設定し、教師が質問やワークシートなどの適切な支援を工夫することによって、自分の考えを広げたり深めたりできるような授業づくりを目指しています。

授業改善研究部会のねらい

「きき合い学び合う授業づくり」を視点に授業改善に取り組むことによって、コミュニケーション能力の育成・向上を図る。

期待される成果

- ・自分の思いや考えをもち、相手に伝えることができる
- ・相手の気持ちや考えを尊重しながらきくことができる。
- ・きくことによって、自分の考えを広げたり深めたりできる。

今年度も各校の子どもの実態や授業の様子をお互いに理解するとともに、授業改善を進めるために、6月から7月にかけて大和中学校、岩田小学校で授業公開及び研究協議が行われました。5校の教員が一堂に会し、活発な意見交換が行われ、今後の授業改善に向けた有意義な話し合いとなりました。

（授業の様子）



（研究協議会の様子）



11月24日（木）には、2年間の研究成果の発表として、大和中学校と岩田小学校を会場に授業公開が予定されています。保護者、地域の皆様、子どもたちの「きき合い学び合う」姿を、ぜひご参観にお越しください。

○ 実践研究協力校の概要

ふりがな 学 校 名	所在地・電話番号 ※都道府県名から記載 してください。	ふりがな 校長氏名	学年別児童生徒数、学級数 (平成23年4月1日現在)			教員数
			学年	児童生徒数	学級数	
しおた 光市立塩田小学校	〒743-0101 光市塩田1927-6 電話(0820)48-2657	おかざき えいこ 岡崎 英子	第1 学年 第2 学年 第3・4学年 第5 学年 第6 学年 計	6 6 15 6 5 38	1 1 1 1 1 5	9
みわ 光市立三輪小学校	〒743-0102 光市三輪264-1 電話(0820)48-2402	たなか たつし 田中達史	第1 学年 第2 学年 第3 学年 第4 学年 第5 学年 第6 学年 特別支援 計	28 14 13 15 18 18 2 108	1 1 1 1 1 1 1 7	11
いわた 光市立岩田小学校	〒743-0103 光市岩田193-2 電話(0820)48-2404	いけだ まさし 池田昌士	第1 学年 第2 学年 第3 学年 第4 学年 第5 学年 第6 学年 特別支援 計	22 31 19 25 29 20 2 148	1 1 1 1 1 1 1 7	11
つかり 光市立東荷小学校	〒743-0105 光市東荷1301 電話(0820)48-2158	やました きくよ 山下喜久代	第1・2学年 第3・4学年 第5・6学年 特別支援 計	5 6 12 1 24	1 1 1 1 1	8
やまと 光市立大和中学校	〒743-0101 光市塩田3333-1 電話(0820)48-2803	あかまつ さとる 赤松 知	第1 学年 第2 学年 第3 学年 特別支援 計	58 51 66 5 180	2 2 2 3 9	19

お わ り に

大和地域の小・中学校5校は、平成22・23年度の2年間、国立教育政策研究所から小・中連携教育実践研究の指定を受け、「共に学び合い自己実現を図ろうとする大和っ子の育成」を研究主題として掲げ、実践研究に取り組んできました。児童生徒のコミュニケーション能力の向上を図ることで、豊かな人間関係づくりと主体的に取り組む学習習慣の確立を目指し、5校が連携して協働実践に取り組んできました。

昨年度は、授業改善研究部会、交流活動研究部会、学習習慣研究部会、生活習慣研究部会の4つの部会に分かれて研究を進めました。どの部会もゼロからの研究、また研修回数も限られたものでしたが、学習習慣づくりと生活習慣づくりの基礎が出来上がり、研究の土台づくりもできました。

国立教育政策研究所の担当調査官から「もう少し焦点化して、大和地域ならではの特色ある取組を」というご指導を受け、1年次の研究の成果と課題をもとに、2年次には4部会を3部会に絞って研究に取り組みました。

研究を進める中で、小学校と中学校の教職員の考え方や研修体制の違いを感じたり、5校の教職員の集まるための時間調整や連携が難しく、十分な共通理解が図れなかったりと課題もありましたが、小学校と中学校が授業を参観し合ったり、研究協議を深めたり、児童と生徒の本当の意味での交流の機会が生まれたり、規模の違う小学校同士の交流の機会も増えたりと、多くの成果を得ることができました。

研究発表会当日は、これまでの研究の一端を公開いたしますが、多くの皆様のご批正を賜り、「共に学び合い自己実現を図ろうとする大和っ子」を目指し、2年間の研究を出発として息の長い研究を進めていきたいと思っております。

最後になりましたが、ご指導、ご支援いただきました多くの皆様にお礼を申し上げますとともに、今後とも引き続き一層のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

研究紀要編集委員会 部長 池田昌士
(岩田小学校・校長)

研 究 同 人

大和中学校 赤松 知 城戸邦之 吉崎寿枝 山根明宏 福田真由美 山本保夫 明木幸恵 阿武朋恵 木村俊徳 矢上佳子 小野美登里 井上靖資 河内典幸 太田 寛 水野志保 大田敏典 戸田弘代 原田美智子 松村邦代 佐々木直美 〈22年度転出者〉 実政則行 中山新三 松尾真吾 有海花織 縄手裕子	塩田小学校 岡崎英子 西崎美草 吉永美佐子 平川麻紗美 中元友子 田谷義和 石井信吾 佐藤しげみ 大久保千恵 守富美香子 〈22年度転出者〉 鈴木淳子 毛利京子 潮田 徹	三輪小学校 田中達史 山門孝弘 津田明美 末松省子 寺内 健 岡田文子 礒部淑子 森川剛 幡田まき子 岩政 文 田村智美 〈22年度転出者〉 林 健 上部由子	岩田小学校 池田昌士 田辺靖啓 鎌田雅恵 平田雅美 牛尾貴恵 平尾 寛 西村俊彦 田中崇江 弘田昌子 古谷登美子 縄手裕子 〈22年度転出者〉 原田淑江 村上美津子 中川亜紀美 中本麻里子	東荷小学校 山下喜久代 川戸育夫 河合順子 菅野雅人 村瀬裕子 角田真由美 礒部恵子 有馬和子 〈22年度転出者〉 清水早苗 中本徹信
--	---	---	--	--



塩田小学校



大和中学校



大和地域
5 校



岩田小学校



三輪小学校



束荷小学校